平成11年6月8日第三種郵便物認可（年4回2・5・8・11月の5日発行）そうせい　第132号　平成18年2月5日発行

ZENSOUSEI 16th
第16期全曹青執行部スローガン
“つながれ 青年僧の 熱い思い”

全国曹洞宗青年会

sousei

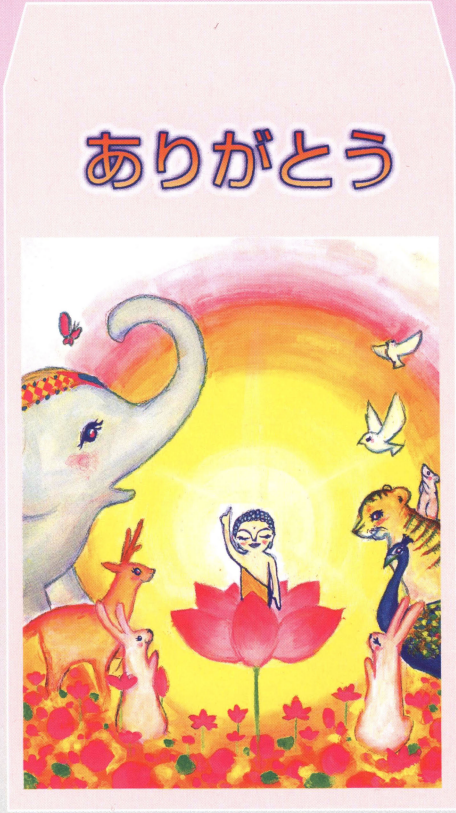
特集
平成十七年度禅文化学林
東海管区大会・岐阜曹青三〇周年記念大会

No.132
2006.Feb

花まつりキャンペーン

～真心のたねをまきましょう～

（裏）



（表）

花まつりの普及に、今期も継続して運動を展開いたします。つきましては左記の内容にて実費頒布いたしますのでご希望の方はお申し込みください。

●内容

新デザイン封筒に花の種、甘茶ティーパック、三仏忌の説明文を詰めた状態で送付いたします。

●申し込み数量と費用

一部一〇〇円

※一〇部単位でお申し込みください

●申し込み方法

郵送・FAX・E-MAILいずれかの方法にてお申し込みください。

●申し込み先

〒354-0031
埼玉県富士見市勝瀬470-2
大願寺内　来馬司龍まで
【FAX】049-254-0822
【E-MAIL】
zensousei-16th@goo.jp
または全曹青ホームページ「般若」内の専用ページからもお申込いただけます。
http://www.sousei.gr.jp/

●申し込み期限

平成十八年二月末日

配布予定　平成十八年三月中旬頃

●お届け方法

着払いにてお届けします。

花まつりキャンペーン申込書

県　名		寺籍番号		ご寺院名	
ご氏名		電話番号		申込数	部
ご住所	（〒　　-　　）				

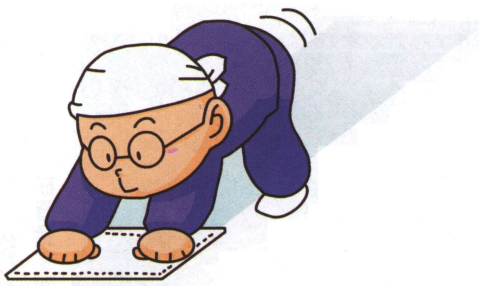
全国曹洞宗青年会
そうせい
No.132
2006.Feb

Contents

04 平成17年度禅文化学林　東海管区大会・岐阜曹青30周年記念大会（11月23、24日）
- 「今、私たちの課題」野口健氏×高木美保氏対談
- 「富士山から日本を変える～守るべき未来への遺産」野口健氏
- 転読大般若御祈祷・曹青教化活動研修会 報告
- 「事務局だより」～大会を終えて～

10 全曹青情報局
- 評議員会開催報告・ボランティア研修会報告
- 憲法第9条改正についてのアンケート実施結果報告
- 「全曹青第17期会長選考委員会届け出要項」

13 青少年教化委員会レポート　― 精神医療の現場から(2) ―
14 委員会紹介　― 法式委員会 ―
18 全曹青第一期副会長　藤井大吾師を悼む
19 青年会モザイク　― 福岡県曹洞宗青年会 ―
20 そうせいインフォメーション　― 東北管区大会、近畿管区大会報告 ―
22 賛助会名簿
24 世界の重層信仰(2)　― キリスト教における重層性 ―
26 「禅」知識まんだら(3)　臨済禅に於ける坐禅　― その意味と実践 ―
28 あまんずそうせい
29 寺族の窓
30 菜食健美
31 そうせいサロン
32 そうせい美術館



Cover Background Design：広瀬知哲

©そうせい2005 本誌の記事・写真・イラストレーションの無断転載を禁じます

今、命を見つめる

―こどもたちの未来のために―

平成十七年度 禅文化学林

・第二十九回 東海管区曹洞宗青年会大会
・曹洞宗岐阜県青年会 三〇周年記念大会

平成十七年度禅文化学林が、第二十九回東海管区曹洞宗青年会大会並びに曹洞宗岐阜県青年会三十周年記念大会と併催して、昨年十一月二十三日（水・勤労感謝の日）・二十四日（木）の両日に渡って、岐阜市で開催されました。

一日目は、県民文化ホール未来会館において三部構成で進行されました。第一部では平和を祈念する「祈り　転読大般若御祈祷」が厳修されました。（八頁にレポートを掲載）第二部、第三部では「今、いのちを見つめる～こどもたちの未来のために～」をメインテーマとして、世界的なアルピニスト野口健氏による「願い　富士山から日本を変える～守るべき未来への遺産～」と題した講演と、テレビのコメンテーターなどでご活躍の高木美保氏と野口氏による対談「誓い　今、私たちの課題」がおこなわれました。大自然と生活を共にする両氏の体験から語られる、現代社会の問題点や未来への展望に、満員の会場は和やかな中にも神妙な雰囲気に包まれました。（五頁から七頁に内容の一部を抜粋して掲載）

二日目の「教化活動研修会」では、会場を同市ホテル十八楼に移し、東海管区各曹青会からの活動報告と質疑応答の後、宗議会議員・小島泰道老師から講評を賜りました。（八頁にレポートを掲載）

岐阜の地名は、「泰平と学問」を意味する中国の故事にならって名付けられたと言われています。その名の通り、世界の平和と明るい未来へ向けた「祈り・願い・誓い」のメッセージを発信し、曹青会相互の情報交換と研鑽がはかられた、この大会の模様を報告します。

誓い

対談「今、私たちの課題」

講師

野口　健 氏（アルピニスト）
高木　美保 氏（タレント・エッセイスト）

高木　都会の中で昼夜逆転したような生活をしていては、心のバランスも身体のバランスも崩れていきます。そんな中で、川があって、山があってという、ごく当たり前の自然と触れ合うことによって、自然と人間本来の姿を取り戻せたように思います。自然界では、たとえば、一本一本の木は、大きいもの小さいもの色々あって、形も真直ぐだったり曲がっていたりします。でも、それぞれがバランスがとれていて、こうでなければいけないというものはありません。

今の日本人は、人から言われたからやるという人が多いのではないでしょうか。そして、他人にばれなければ、何をしてもよいという傾向があるように思います。これまでは、外に背を向け、内輪でやってきたのが日本人の特徴なのでしょうが、もはやそれが通用する時代ではないでしょう。人としてやるべきこと、人として正しいことを教え、また実行すべきです。そして、自分で判断していかなければならないと思います。

幼い頃の経験を言うと、私は、自然の中で遊ばざるをえないような環境にいました。そんな中で、ここは危ないとか、色々と自分で判断しているうちに、自然と自分というものが育っていったのだと思います。

高度経済成長以降、総じて自然体験の機会が失われましたが、それは同時に、自分を育てる機会を失ったということではないでしょうか。そのような環境で育った今の若者は、ひ弱な反面プライドは高いという傾向を持っています。周りの人に持ち上げてもらうことを期待するのではなく、ちゃんと親離れをして、自ら社会の役に立つ人間になるように努力しなければなりません。自然体験は、自ら判断し、実行できる力を育ててくれると思います。

野口　日本人は、教育程度は高いのに、なぜゴミを捨てるのかと外国人に尋ねられたことがあります。日本人は、概して社会の一員であるという意識が低いように思えます。

環境教育というと、昔、何々病という公害病があって…というような話ばかりなんですね。もっと、こういうことをすると私の環境がこうなるということを教えるべきだと思います。

イギリスにいたとき、学校ではボランティアの時間がありました。その時間は好きではありませんでしたが、ボランティアを終えて帰るときは、何となく嬉しかったことを覚えています。近所のゴミ拾いなどは分かりやすいボランティアだと思います。成果が目に見えて分かるので、自分が何かしたのだという気になれます。それが、自然と環境教育になっていくんですね。

自然というのは何をしても否定しません。ただ黙っているだけなんです。それが、自然と内省を促します。そして、何をすべきなのか、自然に分かってきます。

しかし、最近は、中学生などの少年が、以前ほど山に来なくなりました。

それは、親などが、怪我をすると騒ぐというのが理由の一つでしょう。あるいは、事故の責任は誰がとるんだとか言い出す。そういうのは、基本的には自己責任だと思います。山の事故は、ほとんどが人災です。山との付き合い方を知っていれば、そう危ないものではないんです。山に来るプラス面の方がはるかに大きいのだから、危険や事故などマイナスのことばかり考えないでほしいです。若者を育てる立場の親や先生も、臆病にならないでほしいと思います。本気で関わっていけば、子どもは分かるものです。

高木　美保（たかぎ　みほ）
一九六二年、東京都生まれ。一九八四年、映画『Wの悲劇』でデビュー後、ドラマ『華の嵐』の主役をはじめ、NHK大河ドラマなどに出演。コメンテーターとしても、多くのテレビ番組に出演中。現在は芸能生活のみならず講演や執筆業など幅広い活動を展開。一九九八年、自然と共にある生活を求めて、栃木県那須高原に住まいを移し、農業にも取り組む。
著書に、『木立ちのなかに引っ越しました』（幻冬舎文庫）、『生かされている私　ナチュラリストの幸せ』（講談社）他。

願い

講演「富士山から日本を変える ―守るべき未来への遺産―」

講師　野口　健氏

登山を始めた当初は、環境問題という視点は全くなかったですね。そんな僕が環境問題を考える切っ掛けが、一九九七年に初めてエベレストに行った時です。

それまで僕の中のエベレストは、色んなテレビ番組の中で紹介されてましたから、誰もいない無人地帯、そこに登山家が行ってチャレンジする、そういう神秘的なイメージでしたが、まずびっくりしたのは、ベースキャンプに多い時には世界中から三千人ぐらいの人が集まって、端から端までテントだらけなんです。その傍らには大量のゴミがありました。この光景は、日本のどのテレビ番組を見てもワンカットもないですね。

そんなギャップを覚えて、いざ登山が始まりますと、とにかくエベレストは危険で、毎年登山家が亡くなってます。その三百人位の遺体というのがほとんど回収出来ないんですね。その遺体がたくさんあるのを見ながら登ってますから、途中でゴミどころじゃなくなりまして、「もしかしたら自分もこの遺体になるかもしれない。その中でどうすれば残って生きて帰るのか」ということを考えるようになりました。

最終アタックをする前に、一回ベースキャンプに下りて、そこでゆっくり休憩することになったんですが、国際登山隊の隊長が「折角三日間ベースキャンプで休むのだから、この間に、ベースキャンプのゴミを回収しよう」と言うんです。ベースキャンプといっても地上五千三百メートル。空気が地上の三分の二。とにかくいるだけで非常に苦しいところです。さすがに「冗談じゃない。ゆっくり体を休めたい」と思って、もう少しで口から「ノー」という言葉が出る瞬間に、他の隊員が、「グッドアイデア！」と言ってワッと盛り上がりましてね。慌てて口を押さえてその場をスッと抜けようとしたら、それを見てましたベルギーの登山家が「健、お前も一緒にゴミを拾うだろ」と言うものですから、思わず「勿論！」と言ってしまいまして、結局次の日にゴミを回収する羽目になりました。すると、とにかく日本のゴミが多かったんですね。それをヨーロッパの登山家に非難されまして「お前たち日本人は、ヒマラヤを富士山にするのか？」と言うんです。

彼らが言ったのは、ラインホルト・メスナーっていう世界的に有名な登山家がいるんですけど、彼が八十年代に日本に来て富士山に行ったんです。するとあんまり汚いのに驚いて、それから彼は世界中のシンポジウムで「世界で一番汚い山は富士山だ」って言ったらしいんです。「確かに日本の社会は経済的には一流かもしれない。ただお前たちは文化もマナーも三流だ」。これには「ちくしょー」と思いながらも、その時は反論出来ませんでした。

その時の悔しさから、後年エベレストの清掃登山を思いついて、ネパールに行き、地元のシェルパ（ヒマラヤ登山隊の案内をするチベット系ネパール人）に「来年からは山頂には行かない。ゴミを拾う。一緒に協力してくれ」と言いました。シェルパがびっくりしまして、「冒険のために命をかけるのは分かる。ただ、ゴミのために死にたくない」って言うんです。それをなんとか説得して、四年間やってきましたけど、エベレストの清掃は本当にしんどかったですね。どうしても山頂付近にゴミが多いですから、通常標高五千三百メートル付近にあるベースキャンプを六、七千メートル付近にテントを張って、テントの残骸や酸素ボンベといったゴミを、二ヶ月間かけて取って下ろしました。だから通常の登山隊よりも高い七、八千メートル付近にずっといるんですね。その影響で私も体にダメージを受けて、参加したシェルパも三人死にました。その責任を感じて、シェルパに「もう、止めよう」と伝えました。

すると、シェルパが「最初はゴミを拾う理由が分からなかった。確かに健が言うようにネパール全体が汚い。エベレストを徹底的にきれいにすれば、必ずその流れは広まっていく。エベレストからネパールを変えたいんだ」と言うんです。彼らはチベット仏教徒ですから、彼らにとっては山は信仰の対象ですからね、そこをきれいにすることで、彼らの愛国心・郷土愛が芽生えた。彼らがそれに気づいたのはとんでもないことだと思いました。清掃登山が終わって自分の村に帰った後に、彼らは村にゴミ捨て場を作ったり学校に重きを置いたりだとか色んな活動を始

めました。

「命をかけてエベレストをきれいにしたい。それで変わるのであれば、仲間が三人死んだのは意味があるんだ」と。自分は、清掃登山の責任者として、亡くなったシェルパの遺族には恨まれてもしようがないと思ってましたが、その奥さんが赤ちゃんを抱えて自分のところに来ましてね、彼女が言ったのが「この子のお父さんが亡くなる前に、この子に頻りに言うんです。『お父さんはエベレストをきれいにするんだ。お前が大きくなった頃にはネパールはきれいになってるからな』この子のお父さんはネパールを変えたかったんです」。今でも、あの清掃登山が成功だったかどうか分からないけど、そこから色んなことを学びました。

じゃあ日本の富士山は本当にゴミの山なのか、確かめるために改めて富士山に登って、その山頂に立つと、自動販売機や売店が並んでもはや観光地ですね。年間約三〇万人が登頂してますから、ゴミも多い。それから麓におりまして樹海を見たら、医療廃棄物や廃タイヤなどが大量に捨てられている。確かに富士山が世界で一番汚かった。

その時に、富士山と日本は似てるなと思いましたね。外国人はよく「日本人は幸せそうだな」と言います。でも日本は年間で約三万人以上の人が自殺します。親が子を殺すこともあります。シェルパは「親が子を殺すなんて聞いたことがない」って言うんです。遠くから見たら日本も富士山もきれいですよ。ところが近づいたらゴミの山なんです。だから富士山は日本の縮図だなと思いながら、日本の象徴である富士山が変われば、それがモデルケースになり、日本全体が変っていくはずだということを信念にして、富士山を中心に活動しているわけです。

エベレスト登頂時の野口氏（中央）

富士山での清掃登山の様子

野口　健（のぐち　けん）

一九七三年八月二十一日、アメリカ・ボストン生まれ。父が外交官であったため世界各地で幼年時代を過ごす。四歳の時はじめて日本の地を踏む。中学、高校は再び日本を離れ立教英国学院へ入学。

しかし勉学には熱中できず、有り余るエネルギーのはけ口を見出せない野口は、荒んだ日々を過ごす。お世辞にも勉強が出来たとはいえない自他共に認める「落ちこぼれ」であった。そんな時、先輩との喧嘩により、一ヶ月の停学処分を言い渡される。

学校側からは自宅謹慎を命ぜられていたが、父の助言により、一人旅に出る。その時、偶然に書店で見つけた故・植村直己氏の著書『青春を山に賭けて』に感銘を受け、登山を始める。

ヨーロッパ大陸最高峰モンブランの登頂を皮切りに、登山に自己表現の価値を見出した野口は、世界七大陸の最高峰登頂という使命を自らに課す。この時、野口健十六歳であった。

高校卒業後は、亜細亜大学国際関係学部に入学。登山に必要な資金集めから事務手続きまで自らこなし、一九九九年三度目の挑戦でエベレストの登頂に成功し、十年の歳月をかけ、七大陸最高峰世界最年少登頂記録（当時）を二十五歳で樹立する。

その後は、以前から気にかけていたエベレストのゴミ問題を解決するため、四年連続で世界各国の人たちと連携を図り、野口隊のリーダーとして清掃登山に尽力する。

二〇〇一年には、日本隊に参加し遭難したシェルパ（登山隊の案内人・荷役人）の遺族を補償するためにシェルパ基金を設立。更に環境教育の必要性が声高に訴えられている中で、次世代の環境問題を担っていく人材の必要性を感じ、小中学生を対象とした「野口健　環境学校」を開校。日本全国に環境の大切さを訴え実践していくメッセンジャーが生まれている。

現在は、世界各地の国立公園や観光産業を目の当たりにしてきた経験から、日本の国立公園や環境保護と観光振興（エコツーリズム）のあり方について、政治・行政サイドから意見を求められ、環境省を始め、東京都の委員も務める。都道府県独自のレンジャー制度、東京都レンジャー「都レンジャー」、山梨県レンジャー「富士山レンジャー」の提案者でもあり、名誉隊長もつとめる。

野口の活動は多岐に渡るが、現在は、富士山の世界遺産化がその中心に据えられている。環境行政の不備の象徴である富士山を変えることにより、日本全国の国立公園を始めとした自然保護の新たな枠組みが伝播すると、日本全国で講演会を行い、行政サイドに訴え、「富士山から日本を変える」をスローガンに、日々、精力的に活動している。

二〇〇五年五月には、ヒマラヤ山系シシャパンマ（八〇一六m）の登頂に成功した。二〇〇六年度は未踏峰マナスル（八一六三m）に日本人初登頂から五〇周年、ネパール・日本国交樹立五〇周年を迎えるため、マナスル・富士山同時清掃登山を予定。マナスル峰登頂も目指す。

転読大般若御祈祷・曹青教化活動研修会報告

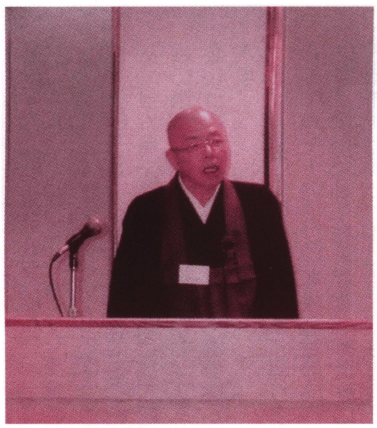
初日（二十三日）の第一部では、全曹青・宮寺会長の挨拶の後、近年の自然災害や紛争などで亡くなられた方がたの尊い命に思いを巡らし、いま大自然と共に生かされている命に感謝しながら、世界の平和、明るい未来を願う『祈り　転読大般若御祈祷法要』が、宮本洪純老師（曹洞宗岐阜県青年会初代会長、岐阜県関市・龍泰寺住職）を導師に、全国並びに東海管区曹洞宗青年会会員七十名によって勤められ、会場の方がたと共に祈りを捧げた。この時ご供養されたお守りは、閉会時に参加者全員に配付された。

転読大般若御祈祷

翌二十四日には、会場を岐阜市内のホテル十八楼に移して教化活動研修会が行われ、東海管区の各曹青会（静岡県第一／静岡第三同志会／静岡第四・照自会／愛知県第一／東三河／愛知第三／三重県／岐阜県）が、それぞれの歴史や沿革、近年の活動実態、今後の課題について報告した。

最後に、小島泰道老師（宗議会議員、元東海管区曹洞宗青年会会長、岐阜県恵那市・長國寺住職）から、『今後の青年会活動を見つめる』と題し、研修会の講評を賜った。師はご自身の二十九年間に渡るご自坊での教化活動のご経験や、一昨年の中国旅行で、中国要人に小泉首相の靖国参拝について意見を求められた際に、日本人の宗教観・精神文化を踏まえて回答されたことを紹介されながら、大衆教化の接点という観点から「さまざまな社会問題について、青年僧として考え、社会に対して大いに発信して欲しい」と鼓舞された。

研修会での質疑応答



小島泰道老師による講評

事務局だより

―大会を終えて―

志比　道栄
（東海管区曹洞宗青年会・
曹洞宗岐阜曹青会　会長）

今の私たちの生活は、蛇口を捻ればすぐに暖かいお湯が出る。また、暗ければ電灯をともすことが出来る。たいへんに便利で快適な生活であります。しかしこれら全ては資源を使うことによってもたらされた生活であります。この豊かな生活の陰には、どれだけ多くの問題が発生し、また尊い命が犠牲になっているかをお考え下さい。私たちは、物を最後までキチンと使い切っているのか。また、多くの物をゴミとして無駄にしていないか。

他の尊い命を使い切れないこと、生かし切れないことを『勿体無い』と言います。この言葉と気持ちを大切にし、他の命や自然を尊ぶことが、同時に私たち自分の命をも大切にするということなのだということを、考えていただきたいと私は思います。

将来私たちの子どもや孫のためにも、今以上の世界や環境を残す責任があります。今の日本の現状を踏まえて、いま私たちに何が出来るのかを考える上で、今大会を参考にしていただけたら幸いに存じます。

三塚　泰俊（大会実行委員長）

本日の大般若法要や、野口健氏、高木美保氏のお話を通じて、私たちがこれから生きていく上で、いくつもの勇気、希望が持てるメッセージをいただきました。

お釈迦様や道元禅師は、こう示しておられます。「この世に生きとし生ける山や川、草や木、動物や虫、空気や水までもが、人間と同じ尊い命を精一杯生きている。それが無常の現れであり、真実の現れである」と。

先達が命の恵みを守り私たちに送ってくれたように、これから生きていく子どもたちのために、素敵な命のプレゼントをすることが出来れば、と願っております。

最後にこの場をお借りいたしまして、今大会にご支援下さいました諸老師方をはじめ、全国各曹青会会員の皆さまに対しまして心より御礼申し上げます。

一日目の会場
岐阜県民文化ホール未来会館

ちびっ子も募金に協力

大会事務局諸師の面々　―たいへんお疲れ様でした―

寺院用仏具・仏壇・製造販売
曹洞宗梅花流法具販売指定店

HŌ-KO

放光（ほうこう）

本店・工場　〒940-0825　新潟県長岡市高畑町617番地　☎(0258)33－5644
新　潟　店　〒950-0941　新潟市女池2丁目2－11　☎(025)280－1550
川　越　店　〒350-0036　川越市小仙波2丁目20－1　☎(049)227－7666
高崎営業所　〒370-0046　群馬県高崎市江木町1179－2　☎(027)324－3721
長野営業所　〒380-0911　長野市稲葉1980－1　☎(026)222－3811
http://www.hoko-butugu.com/

全曹青 情報局

平成十七年度 第二回評議員会開催

昨年十一月三十日、午後一時三十分より、曹洞宗檀信徒会館（桜の間）にて、本年度第二回評議員会が開催されました。各会員、約六十名超の参集のもと、副会長・門脇昌文師の開会の辞から始まり、三帰礼文の唱和、会長・宮寺守正師より挨拶が述べられ開会いたしました。議長を桑山智志師（東三河曹洞宗青年会）、副議長に清水孝英師（新潟県曹洞宗青年会）を議長団として選出し、迅速な議事進行の中、活発な審議応答があり、下記の議案が議決されました。閉会の辞を副会長・香村一孝師により述べられ、午後四時に滞りなく無事閉会いたしました。

【第一号議案】各委員会活動報告

〔総務委員会〕①平成十七年度、禅文化学林開催地（岐阜）との連絡・協議。②平成十八年度・禅文化学林開催について。③花まつりキャンペーンについて。④ほとけさまの知恵袋について。⑤曹洞宗報『そうせい号外』への入稿。⑥事務局・会計の補佐について。⑦委員会開催報告。

〔広報委員会〕①全曹青広報誌『そうせい』（以下『そうせい』と表記）一三〇・一三一・一三二号の編集会議報告。②『そうせい』一三〇・一三一号の発行について。（特に執行部・理事会校正と教化部確認について。）③次年度『そうせい』発行月日の変更検討。

〔青少年教化委員会〕①『日めくり伝道句集』の四万部発行・体裁の検討。②『日めくり伝道句集』の見本の提示。③今後の制作日程。

〔ボランティア委員会〕①災害ボランティア研修会（十一月三十日）の企画。②全曹青としての緊急災害時の対処策。（災害マニュアル作成について）③防災をテーマに、寺院を生かした地域に根ざすボランティアを目指す「防災寺子屋」について。④「智慧の輪―Wisdom Band―」（仏旗色バンド作成・頒布の検討。）⑤台風十四号災害ボランティア活動実施報告。

〔法式委員会〕①DIGIそうせい『祈祷太鼓の手引き』DVD作成における編集・進捗状況。②『ネット版法式事典（仮称）』の作成について。③各青年会への「萬燈供養」勉強会。

〔IT委員会〕①委員会開催報告。②携帯用HPの公開（特に災害時の情報掲示）の準備。③プロバイダ移転に伴う、プロバイダの選定等。④『そうせい』と『そうせい号外』の更新。

〔本部事務局〕①事務局開催報告。

〔会計〕①会計中間報告。

【第二号議案】会則改正に関する件について

〔会則改正に関する委員会〕

①臨時理事会の開催報告。②平成十六・十七年度委員会開催報告。③平成十七年度、第一・二回評議員会以降における会則改正案の変更点。④全国曹洞宗青年会会則改正案。

※平成十七年度総会に於いて継続審議となっておりました全国曹洞宗青年会会則改正案については、各評議員挙手多数により可決されました。

〔その他・連絡事項〕

①全日本仏教青年会活動報告。②平成十八年度活動予定。

【第三号議案】

〔第十七期会長選考委員会立ち上げについて〕

①第十七期会長選考委員会の開催について。

ボランティア研修会

午後の評議員会を前に、ボランティア研修会が同会場で行われた。講師は、阪神大震災の際に「何か自分にも出来ることはないか？」というのが出発点ですと語るシャンティ国際ボランティア会緊急救援室長の関尚士氏、鈴木晶子氏にお務めいただいた。

近年は大自然を前にしてはすべてがいかに無力かを知らしめるような事が頻発している。その中で生きる私たちに果たして本当に覚悟は出来ているのだろうか。それはいつやって来るか分からない。地震か、強大な台風による水害か。あるいはその両方か。海洋での巨大地震の場合、津波の被害は深刻であり、高さ三十メートルの津波の場合その速度はジェット機並みにもなるという。

研修会では冒頭に、神戸の「人と防災未来センター」が作成した阪神大震災のイメージ映像を見た。この迫力（リアルな）には正直驚いた。「迅速性、そして柔軟性が大切です」関氏は語る。「全曹青や各曹青会のネットワークには期待しています。お互いに出来る範囲でやるべき事を探していきましょう。そして出来れば、お坊さんだから出来る部分（役割）を見つけて欲しい。」土壇場で何が出来るのか？何をするべきなのか？

まず被災地、被災者の思いを謙虚に学ぶべきだろう。

過去のデータをもとに対応・対策の重要性を説明される関氏

憲法第9条改正についてのアンケート結果

今回広報委員会では、評議員会出席者に対し憲法第9条改正についてのアンケートを実施いたしました。特にこの問題は平和、人権、環境の問題と深く関わる宗門人としても看過できない課題です。理念（戦争の放棄と軍隊の否定）と現実（自衛隊の存在及びその海外派遣）のはざ間にあって憲法とは人道的に誤った国家権力の行使（強く言えば暴走）を防ぐための、国民にとっては最後の砦です。今ある現実に即して改正していくことが我々国民のためになるのか？　むしろ宗教の如く、今ある理念の方を大切にして現実を理念に近づけていくことが我々国民のためになるのか？　ということが問われています。読者の皆さまはこの結果を元にどうお考えになりますか？

（回答総数　32）

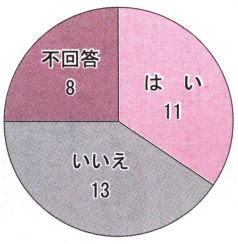
①現実にそぐわないと言われている憲法第9条をどう思いますか？

（肯定意見）
- すばらしい
- 現行のままでよい
- 精神性は今のままでよい（恒久的）
（宗教的立場から見れば当然）
- 守るべき
- 憲法第9条を問題にせざるを得ない現代人の心が心配
- 「そぐわない」と言われている理由が分からない
- 戦後60年間の歯止め役だった。

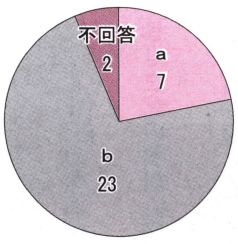
（否定意見）
- 現実的でない
- 改正もやむなしか…
- 時代の流れである
- 自衛隊は実際にあるのだから存在を認めるべきだ

（その他）
- もっと議論が必要
- すこし過敏になりすぎではないか
- 条文内容が分からない

②青年僧が第9条に関する議論をする必要があると思いますか？



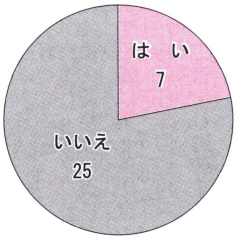
③第9条に対するあなたのスタンスを教えてください。



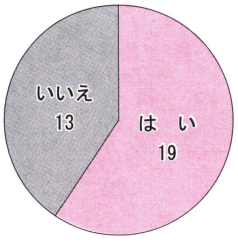
a…必要があれば具体的に活動をしていきたいと思っている。
b…アドバイザー的な役割でいるべき。

④なぜ憲法改正（改悪とも）の動きが起きていると思いますか？
- 国防のため（対テロ戦争）
- 憲法が現状に合わなくなってきているから
- 日本人が自力で作った憲法にしていこうという意向だと思う。
- 見栄
- 自衛隊の活動を世界各国が期待している
- アメリカとの関係
- 戦争を二度としないように心がけているから
- あまりにも自由すぎるから

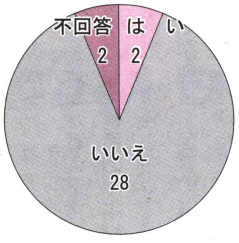
⑤戦争放棄、戦力不保持、交戦権の否認、これを変える必要があると思いますか？



⑥あなたや家族、友人が戦争で被害を受けたことを想像できますか？



⑦昨年10月29日に自民党が「新憲法草案」を発表し、その中には「自衛軍の保持」と「緊急事態における秩序維持のための活動」が盛り込まれておりますが、武力で真の平和を維持できると思いますか？



その他の意見
- 現在は必要、世界情勢を見ると段階的に武力を減らすしかない。これから1000年の課題。
- ただし本当に武力を放棄すれば出来るようにも思われる。

結果を拝見しまして、「現実容認」「傍観、深く立ち入らない」というスタンスが多いという印象を持ちました。編集委員の中でも、「第9条堅持」と「改正反対運動の先頭に立つのは、仏教徒の本分ではないのではないか……」という二つの気持ちが混在しているというのが正直なところです。

しかし宗教者の立場からより深く見つめれば、現実にそぐわないと言われる憲法に、現実を近づけていくのが真の平和と生活の改善をもたらすものであると思います。我々はこの狭間で脚下照顧し、大いに悩み学ぶべきではないでしょうか？

全国曹洞宗青年会

第十七期会長選考について（公募）

会長選考委員会に於いて、会則並びに細則に従って左記の事項が決定されました。

全国曹洞宗青年会第十七期会長に立候補する者は左記の要項に従い、立候補届を完了して下さい。

全国曹洞宗青年会 第十七期会長選考委員会 委員長 森 道輝

全国曹洞宗青年会 第十七期会長選考委員会 届け出要項

一、立候補届並びに履歴書の提出

二、立候補者の曹洞宗青年会における経歴書の提出

三、推薦状 ①管区曹青会代表者
②曹青会代表者

四、立候補に当たっての執行方針の提出

五、立候補届け先
全国曹洞宗青年会
第十七期会長選考委員会
委員長 森 道輝
〒三五九－一一六七
埼玉県所沢市林二－一四七
松林寺 内
電 話 〇四－二九四八－一八三九
FAX 〇四－二九四九－七五七四

六、立候補届け出期限
平成十八年二月二十八日（火）必着

七、立候補届け出方法
必ず郵便書留にてお願い致します。

八、選考委員会構成員

選考委員長
森 道輝（関 東管区理事）

選考副委員長
志比 道栄（東 海管区理事）

選考委員
宮寺 守正（第十六期会長）
大嶽 俊行（北海道管区理事）
葦原 憲義（東 北管区理事）
高橋 英寛（北信越管区理事）
葛城 天裕（近 畿管区理事）
佐瀬 宏洋（中 国管区理事）
舛田 豊範（四 国管区理事）
小島 宗彦（九 州管区理事）

全国曹洞宗青年会会則（抜粋）

第三章 役 員

第九条（役員の種類及び数）
本会に次の役員を置く。
①会 長 一名
②副会長 三名
③理 事 九名
④委員長 各一名
⑤事務局長 一名
⑥会 計 一名
⑦監 事 二名

第十条（役員の資格及び選任）
一、本会の役員は第七条に定める正会員の中から就任年度四月一日に三十九歳以下の者より選任する。
但し、理事の年齢についてはその限りではない。
また、期間中は、正会員としての権利及び義務を有する。
二、本会の役員の選任は次の通りとする。
①会長は、別に定める細則に従って選任する。
②副会長は、別に定める細則に従って選任する。
③理事は、各管区に於いて一名選出する。
④委員長は、理事会で選任し、評議員会の承認を得る。
但し、特別委員会委員長はその限りではない。
⑤事務局長は、会長が指名し、理事会並びに評議員会の承認を得る。
⑥会計は、会長が指名し、理事会並びに評議員会の承認を得る。
⑦監事は、理事会が推薦し、評議員会で選任する。

第三号 会長副会長選出に関する細則

第一条 この細則は、本会の会則第十条第二項に基づき、会長・副会長選考に関する事項を規定する。

第二条 会長・副会長選考を行う為、選考委員会を組織する。

第三条 選考委員会は、理事及び現会長をもって構成する。

第四条 選考委員長及び副委員長各一名は、委員の互選による。

第五条 選考委員会は次期会長候補の届け出の諸手続を定め、初年度の二月十五日迄に公報する。

第六条 次期会長候補者は、管区曹青会代表者と単位曹青会代表者の推薦状を付けて選考委員長宛に届け出た者とする。

第七条 次期会長予定者の選考は、第六条の定める候補者の中より、選考委員会で、責任をもって選考する。

第八条 次期副会長予定者の選考は、選考委員会と次期会長予定者と協議し、責任をもって選考する。

第九条 選考委員会は、選考した次期会長予定者及び副会長予定者を、評議員会の決定を得て、現会長の任期二年目総会でその承認を行う。

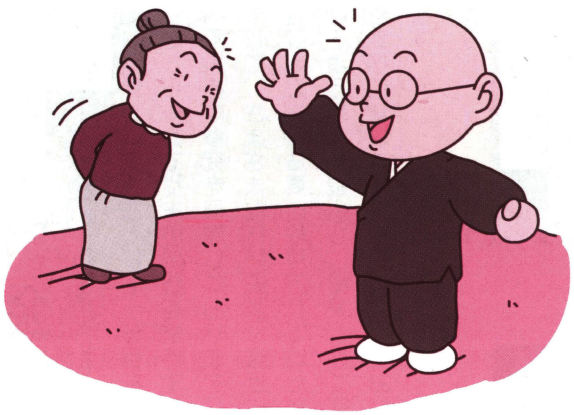
精神医療の現場から（二）

僧侶とソーシャルワーク

全曹青　青少年教化委員会委員　秋吉龍成

前号では、私が精神科のソーシャルワーカーになるまでに考えたことと、そこに至った経緯を書きました。また、私が精神障害者の方がたと現場でどのようなかかわりをしているかについても触れました。今回は高齢の方がたとのかかわりについて書きながら、僧侶としてどのようなかかわりを心がけていけるのだろうかについて、一私見を述べさせていただきたいと思います。

彼岸会法要や施食会法要で参詣にいらっしゃる方の大多数が年齢の高い方というのは、私の師寮寺だけのことではないと思います。当然ですが、高齢の方とかかわる機会は極めて多いと思います。一般社会においては、小学生のころから道徳的観点で「お年寄りをいたわりましょう」「お年寄りを尊敬しましょう」ということを教育されています。しかし、医療・福祉におけるかかわりの場面において、それは高齢の方が満足できるかたちで実践されているといえましょうか。先日の新聞記事で『老人保育』という言葉を見つけました。私が実際に耳にしたのは、福祉施設を利用している高齢の方が「お遊戯とか折り紙とかばかりさせられるなんて、ここでの私は幼児以下の扱いだな」という寂しげな言葉でした。これは過度な保護的関与による弊害と言えるでしょう。



私が精神科の医療現場で感じるのは、「情報弱者としての高齢者」という側面です。視力、聴力、脚力など生活に影響が出るような障害を持つ高齢の方が、より安全に便利に暮らすことができるための情報を入手することができずに毎日の生活を送っていらっしゃるのです。本人からの訴えやこちらからの質問によって問題の存在を知ったときには、必要な情報提供という援助を行なうことができますが、本人と医療スタッフであるこちらとの関係の起点が地域社会のつながりや大きな信頼関係ではなく契約ですので、警戒を解いていろいろな話ができるようになるまでにはかなりの時間がかかることも多々あります。当然のことながら問題の発見や解決に時間がかかります。

檀信徒さんとのかかわりは、関係の起点が地域社会でのつながりをはじめ、長い時間をかけてできあがってきた信頼関係ということが多いと思います。生活上感じている不自由を気楽に話してもらえることもありますし、本人が問題を口にしなくとも、過去からの比較によってこちらが問題に気づくということもできます。直接的な援助活動については専門家に任せるにしても、早い段階から問題の所在に気づき、解決に向けての情報を提供するのは私たちにもできることです。高齢者の地域ケアは、間違いなくこれからの福祉において重要視されることです。資格を持つ専門職だけにすべてを任せるのではなく、私たち僧侶が積極的にかかわり地域福祉を推進していくことは、地域における寺院と僧侶の存在価値をさらに高めていくものといえるのではないでしょうか。そのために私たちが心がけなければならないことは、檀信徒さんとのつながりを深めることと地域の社会資源の情報を知ることだと思います。

加齢による疾病に伴う障害は進行性のものが多いです。障害が自尊心の喪失に至ってしまう前に、必要な医療を受けたり、リハビリテーションを開始したりすることは、先に述べた『老人保育』を嘆くような方を減らすことになると思います。「お年寄りをいたわりましょう」「お年寄りを尊敬しましょう」という言葉の真髄は、この点にあるのではないでしょうか。

浄域・禅の神髄を求めて
旅行のことならおまかせください。
東武グループ 東武トラベル
〒131-8504　東京都墨田区向島1-33-22　第二東武館 3F
団体営業部　℡03－3624－1237
〈主な支店〉
札幌　一関　館林　栃木　千葉　川越　長野駐在　静岡　名古屋
法人営業（東京、神奈川、山梨、茨城担当）
京都　北近畿　大阪　姫路　福山　岡山　高知　福岡　長崎

委員会紹介

法式委員会

活動目的

第十六期全曹青法式委員会では、現代の宗門で実施されている法式全般に於ける実践の在り方を模索し、実践的・歴史的・教義的に研究と考察を加え、各地の法式作法をさまざまな形を通して広く紹介していくことを目的にしており、新しい法式などにも十分目を配りながら一方で従来の伝統を堅持するべく多様な参究を展開しております。そして、さまざまな行持をより身近に各御寺院様の法要に取り入れていただけるよう情報を提供し、結果として宗意宣揚に繋げていきたいと考えております。

DVDパッケージ用スチールの撮影風景

DIGIそうせい『祈祷太鼓の手引き』DVDの制作

前期の第十五期から引き続きの作業として、DIGIそうせい『祈祷太鼓の手引き』DVDを作成いたしました。『曹洞宗報』二〇〇五年一〇月号の「そうせい号外」や『そうせい』一三一号などに広告記事を掲載させていただきましたが、全国の祈祷寺を拝登・取材して祈祷太鼓の打法と祈祷法要の様子を収録いたしました。そして、「祈祷太鼓」そのものを学習でき、自分で打てるようになるための教材として完成いたしました。頒布を希望される方は別途パンフレットや全曹青ホームページ『般若』等をご参照ください。

取材中の貝野委員（可睡斎札受所前にて）

『ネット版法式事典』の構築

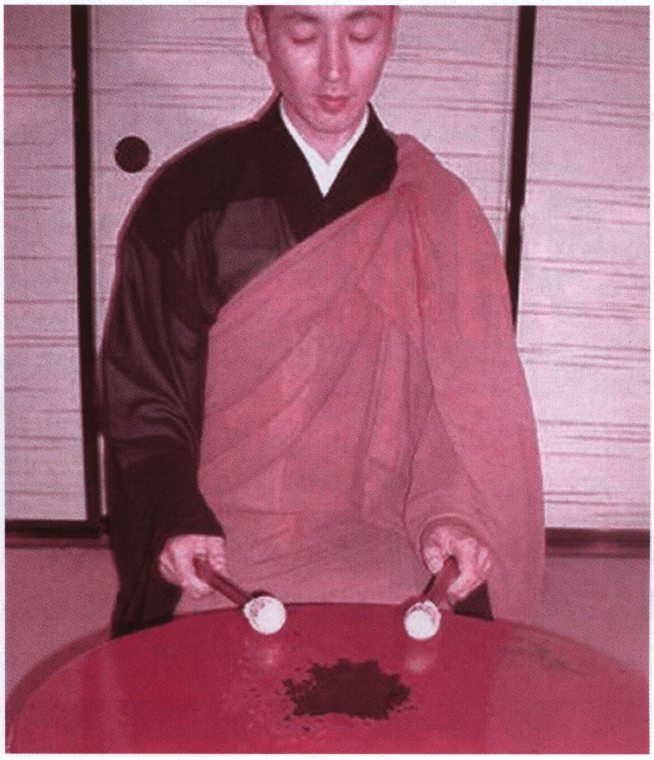
従来、全国各地で行われるさまざまな法式とは、両大本山でも導師の進退も異なり、「三具足」の配置法なども、全国さまざまな作法があると聞きます。従って『法式事典』なるものを紙媒体で作成しても、紙幅の都合上で必要な情報をカットしたりすることがあります。また、どこでも使えるように配慮した事典が、結局中途半端な内容でどこでも使えないという事態にもなりかねません。そこで、「双方向性」という性質を持つインターネット上に『事典』をおくことで、多くの全曹青会員諸師の皆さまの知恵を持ち寄って、更新できる『事典』を作成する企画を計画しております。

企画が正式に公開された際には、皆さまのご協力をお願いいたします。

終わりに代えて

我々法式委員会では、独自に情報の収集を行っておりますが、それとともに全国の皆さまから企画へのご要望やご意見を頂戴しております。また、各青年会での勉強会等に当方から講師の派遣を行っております。「萬燈供養」や「祈祷太鼓」、あるいは「授戒会」「葬儀法」などご要望がありましたら、先の企画へのご意見も同様に以下にご連絡いただければ幸いです。

委員長（松永）連絡先
（e-mail:hosshiki@mail.goo.ne.jp）



「祈祷太鼓の手引き」練習編の撮影風景（貝野委員）

前期に引続きDVD制作にご尽力頂いた清水講師
（可睡斎戒会取材中にて）

各委員コメント

委員長
松永　寛道
（静岡県第一宗務所青年会）

今期は前十五期清水了祐委員長発案の事業を継承させていただいてますが、微力ながらも当委員会に関わらせていただいたこのご縁に感謝いたします。

副委員長
田中　圭春
（兵庫県第二青年会）

いただいた仏縁に只感謝。

菅原　研洲
（宮城県曹洞宗青年会）

各地のさまざまな行持・法式の調査研究の面で、微力ながらもご協力させていただきます。何かの形で結果を発表出来れば幸いです。

貝野　元丈
（石川県曹洞宗青年会）

ふつつかものですが、一生懸命がんばります。

桑山　良規
（和歌山県青年会）

古規の法式作法を深く参究し、また「現代における法要儀式を通しての布教教化のあり方」について考察していきたいと思います。

市川　輝博
（静岡県第一宗務所青年会）

全曹青に参加させていただく機会に恵まれたことに感謝いたします。法式委員会にて微力ながらも精一杯頑張っていきたいと思います。

安彦　智峰
（北海道青年会）

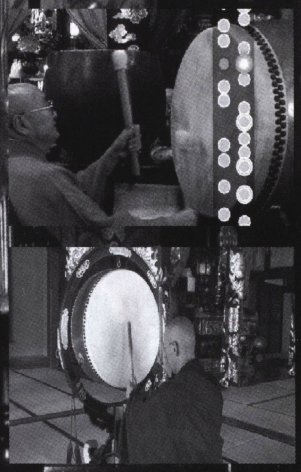
少しでも皆さまのお役に立てるよう尽力してまいります。ご法愛を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

DIGIそうせい

『祈祷太鼓の手引き』

全国曹洞宗青年会　法式委員会

ZENSOUSEI 16th



申し込み用紙

法式委員会が、前回の『萬灯供養の手引き』DVD/CDをお届けしてから１年余。「なんとかして祈祷太鼓を学びたいがその時間がない」という全国会員の皆様の声にお応えするべく製作いたしました。
全国の有名な祈祷法要と雄壮なる祈祷太鼓の映像を収録し、教材としても使えるように工夫したDVD、ブックレット付き。「DIGIそうせい」第２弾!!

※お申し込み方法
下の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、郵送かＦＡＸ、もしくはメールにてお申し込み下さい。

※お申し込み先
〒４５７-００００６
名古屋市南区鳥栖二-十五-二二
中村嘉秀 宛て
ＦＡＸ　０５２-８１１-０５７０
時間指定【９：００～１８：００】
（時間厳守にてお願い致します）

※E-mailによる申し込み
zensousei-16th@goo.jp
必要事項を記入の上、右記アドレスにお送りください。

※全曹青ホームページ「般若」内の専用ページからもお申込いただけます。

※申し込み期限
数量限定製作ですので、無くなり次第終了します。

※お届け方法
着払いにてお届けします。

※内容に関する問い合わせは
法式委員会　田中圭春 まで。
０９０　１５８２　５１３１

祈祷太鼓の手引き申込書

申込数量＿＿＿＿＿＿部（1部1,000円・何部でもかまいません・送料別途）

県名＿＿＿＿　寺籍番号＿＿＿＿　ご寺院名＿＿＿＿　ご氏名＿＿＿＿＿＿

ご住所（〒　　-　　）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　電話番号＿＿＿＿＿＿

WISDOM BAND

智慧の輪 わ 和

「仏はいる　あなたと　共に」

― お釈迦様の智慧と慈悲の心を身につけ、悲智円満に生きていきましょう ―

近年、世界各地で災害が多発しております。復興支援活動においては、被災者の心に寄り添い、苦しみを分かち合う温かい心が大切です。
ボランティア委員会では、この心こそが仏教の原点と一致すると考え、日頃からこの意識を高めることが出来ればと、「智慧のわ―WISDOM BAND」を作成いたしました。
５色は仏旗の色です。防災意識の高揚だけでなく、仏教の敷衍にもお役立て下さい。

仏旗とは仏教徒のシンボルであり、仏教を開かれたお釈迦さまの教えを守り、全ての世界・全てのものを照らし護ってくださるお釈迦さまの慈悲の心をあらわしています。お悟りを開かれたお釈迦さまの身体から５色の光明が輝き、あたりを照らした伝説があります。

５色の意味は

青…仏・法・僧の三宝に帰依する心。またお釈迦さまの髪の色を表し、心を乱すことなく力強く行き抜く力「定根」を意味します。
黄…金色に輝くお釈迦さまの肌の色。正しい判断力である「智慧」のシンボルであり、打ち破られることのない「金剛心」を意味します。
赤…お釈迦さまの情熱と血液の色。大いなる慈悲の心で、苦しみ悲しんでいる人々を救済する「精進」を意味します。
白…お釈迦さまの白い御歯(二心のない腹)。「泥中の蓮華」のような、清らかで、諸々の悪業や煩悩の苦しみを清める心「清浄心」を意味します。
樺…お釈迦さまの身体を包む御袈裟の色。世の中のあらゆる苦しみに耐えて、ひたすら目標に向かって前進する「忍辱」「忍耐心」を意味します。

問い合わせ 申し込み方法

下の申込書に必要事項を記入の上、ファクスあるいはE-メールにてお申込下さい。

全国曹洞宗青年会ボランティア委員会
FAX：**0297－58－4496**　E-mail：**wisdomband@mail.goo.ne.jp**

智慧のわ―Wisdom Band　申込書

申込数量＿＿＿＿＿＿個（１個100円・100個単位でお願いします・送料別途）
※着払いで発送致します。

県名＿＿＿＿　寺籍番号＿＿＿＿　ご寺院名＿＿＿＿＿＿　ご 氏 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご住所（〒　　－　　）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

藤井大吾老師を悼む

最乗寺　石附周行

昨秋、十月三十一日、大阪市天徳寺住職藤井大吾老師が遷化された。世寿六十一年。

藤井老師は、全国曹洞宗青年会第一期副会長を努められ、草創期における会の発展に重大な役割を担われた。

当時、門脇允元会長を中心に全国に会員参加を呼びかける方途として、管区単位にセミナーを開催し研修と組織づくりを同時進行させていくこととした。セミナーのメインテーマは「大衆教化の接点を求めて」と決定され、地域における特色のある企画がなされたのであった。

近畿管区を担当されたのが藤井老師で、古都の奈良県を中心としたセミナーは内容の深いたいへん意義あるものであった。確か、奈良国立博物館長であられた杉山二郎先生がご案内して下さったと記憶しているのであるが、西大寺の叡尊の興法利生（仏教を興し、衆生を救済する）活動を学んだことは大きかった。癩病（ハンセン氏病）の救済活動や宇治橋修造などの社会救済活動を感慨深く学習したことであった。

このセミナーの組立は、リーダーであった有馬実成事務局長が提案され、地域の青年僧に結びつけたのが藤井副会長であった。一泊二日の日程は、移動レクチャーが進むにつれ、参加者の心を強い絆で結んでいった。

藤井老師は大阪育ちの気さくで人に親しまれる器量の人だった。必ず同志を多勢同行されて全国の行事に良く参加された。そのエネルギーが近畿管区をまとめ、中国管区への足がかりになっていったように思いおこされる。

私は青年会活動で藤井老師に出会い、その後もずっと親しくさせていただいた。ご遷化の二十日ほど前、奥様とお嬢さまがお越し下さり、藤井老師のご意志で「頂相」に賛を書くよう依頼された。天徳寺では生前に準備しておくことが慣例だと云われた。

「六十年の人生で、全曹青時代が一番楽しかった。」といつも云われ、「副会長が一緒だった石附さんに頼んでくれ」と、奥様がその意を伝えて下さった。

本葬の日、その頂相の前で、献香・香語を全身心で述べ、他界行脚に向う藤井老師に別れを告げた。

こころの時代（とき）にこころの旅（たび）を

国内団参・海外仏跡巡拝の事なら経験豊かなビーエス観光へお申し付け下さい。

ビーエス観光グループ

福岡県曹洞宗青年会

再発足	：昭和５９年
会長	：持地俊一
副会長	：山内龍二・川岡賢成
事務局長	：村上宗隆
庶務	：中山正嗣
会計	：平川承司
会報	：山口秀樹・石川俊英
会員数	：４９名

こころとこころのふれあいを大切に　子弟研修会

福岡県曹洞宗青年会の紹介をさせていただきます。現在会員は四十九名。会長以下、副会長、事務局長、庶務、会計、会報で構成する「執行部」と各教区理事による協議の上、活動内容を決定し、さまざまな活動を行っております。会の運営は、正会員、ＯＢ会員、賛助会員からの各会費、福岡県宗務所からの助成金を運営財源の中心としております。

昨年の平成十六年、当会は再発足から二十年を迎えました。再発足と申しますのは、当会は過去に一度中断したという経緯があるからです。現在は青年会が存在していることが当然のようですが、当会を振り返ってみますと、昭和五十九年の再発足当時の会長様をはじめ、再発足に御尽力下さった諸先輩方のご苦労、そして現在まで当会を盛りたて発展させて下さった皆さまのお陰で、当会が存続していることを忘れてはならないと思います。

そこで、再発足から二十年という節目に「もう一度、原点に返ろう」ということで、『原点回帰　～未来へ向かって～』というスローガンをかかげ、再発足二〇周年の記念大会を開催いたしました。計画から運営まで全てにわたり、少数ながら現会員一丸となって執り行いました。記念コンサートに南こうせつ氏を迎え、県内御寺院様、九州各県青年会、檀信徒の方がたをはじめ、約千人もの方がたのご来場をいただき、盛大に行われました。この記念大会を境に、当会の結束が一段と強くなったと自負しております。

その結束は、いたる所で力を発揮しております。九州では地震、水害と自然災害が続きました。昨年三月の福岡県西方沖地震では、県内の寺院もかなりの被害に遭いました。墓石が倒れたり、壁が崩れたり、瓦が落ちたりという惨憺たる状況でした。そこで「青年会で何かできないだろうか？」と話し合った結果、人力だけでは解決できない被害が多かったことを考慮し、「托鉢をしよう」ということになりました。急な計画にも関わらず、多くの会員が参加し托鉢を行いました。九月には、台風の豪雨により九州各地で水害が起こりました。特に宮崎、鹿児島が大きな被害を受けました。秋の彼岸前という忙しい中ではありましたが、有志の会員十名ですぐさま現地に入り、土砂や木材の片付けなどのボランティア活動を行いました。この結束とフットワークの軽さは、これからも多くの場所で生かしていきたいと思います。

年間行事として、各種研修会を行っております。法式研修では出班焼香などを研鑽し、寺院会計についての研修では専門の講師を招いて実務を中心に積極的に勉強しております。また寺院子弟研修会としまして、グリーン・プランに基づくボランティア活動に力を入れております。参加の子弟と共に県内各地の清掃活動を行っておりますが、ゴミの多いことに改めて驚かされます。この活動を機に、ごみを捨ててはならないということに、身をもって気づくことができました。

また、会員相互の親睦を目的としたボーリング大会やソフトボール大会を年に二回行っております。共に汗を流すことで、それまで面識の無かった会員との新たな出会いや、会員相互の交流が深まる場として、定着しております。

ただいま真剣に協議中

毎年年末には歳末助け合い托鉢を行っております。ここ数年、全国各地で自然災害が多発しておりますので、その時どきの状況を見て、浄財を下さった方がたの意が活かされるよう、各方面に寄付させていただいております。

以上、活動内容を紹介させていただきましたが、当会が一番誇れることは、会員の行事への参加が常に多いということです。簡単な事のようですが、それぞれの寺院で、それぞれ違った予定で毎日を送っている中、予定をやり繰りして集まるということが、一番たいへんなことだからです。この先、当会がますます発展できますよう、会員一人ひとりが向上心を持って、一歩一歩進んで行きたいと思っております。

視線をあびながら西鉄福岡駅前での托鉢

そうせいインフォメーション

ー東北管区大会ー

脚下照顧～今を見つめて明日をひたすらに～

昨年の十月十九日(水)、青森県八戸市「よねくらホテル」を会場に、平成十七年度曹洞宗青年会・東北地方集会青森大会が開催されました。

意見発表　『日頃感じること』

白熱した
アームレスリング大会

今大会は三〇周年という節目にあたる記念大会ではありましたが、一切の御寄付を募ることをやめ、著名人を招聘しての基調講演など従来の大規模な大会という方向性ではなく、敢えて「小規模」という、会発足時への原点回帰を目指して大会の準備を進めて参りました。

全曹青協賛のもと、大会当日は百有余名という大勢の御参加をいただき、第一部「記念式典」、第二部「各県代表者による意見発表会」、第三部「懇親会」の次第にて進行し無事閉会いたしました。

第二部の「意見発表会」では、大会タイトル『脚下照顧～今を見つめて明日をひたすらに～』をもとにして、各県曹青会の発表者各位に自由に考えていただくという事にいたしました。当初は実行委員会の中にも「意見発表の範囲が絞り込めず、かえって発表しにくいのでは」と心配する意見もありましたが、多様かつ闊達な意見が発表されることを期待して敢えてそのままにした所存です。ちなみに発表者六名各位の題目は以下の通りです。

『日頃感じること』
『身近にできること』
『はじめの一歩』
『現代布教』
『供養場からの社会参加』
『青年僧侶の今後について』

いずれの発表内容にも共通していた点は「これからやっていこう」という将来的な目標や指標ではなく、各人がそれぞれに取り組み、既に実践している事をもとにしたとても建設的な内容だということでした。同年代の青年僧侶の意見を聞くというまたとない好機を得て、発表者・聴聞者各位にとっても大変有意義なものになったと思います。

また第三部「懇親会」では、今大会開催地である八戸地域で盛んな「アームレスリング（腕相撲）」を公式審判員立ち会いの下、県別対抗戦にて執り行いました。シンプルかつスピーディーということで思いのほか好評を博し、会員同士の親睦をより一層深めることができた模様です。

さまざまな方がたの御協力を得て、今大会を無事成就することができましたこと、御参加いただきました会員並びに関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。

大会実行委員長
青森県曹洞宗青年会会長
丸井芳胤　合掌

ー近畿管区大会ー

参学の集い「体験、熊野古道を歩む」

昨年十一月一日、近畿管区大会・参学の集い「体験、熊野古道を歩む」を和歌山県田辺市本宮町において、全曹青会長・宮寺守正師にもご参加いただき総勢三十九名を集めて開催いたしました。

二〇〇四年七月、ユネスコの世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」の中に熊野参詣道（通称―熊野古道）があります。

近畿曹洞宗青年会連絡協議会では、古の人々が厳しい大自然を乗り越えて詣でた熊野古道を自らの足で歩むことで自己を修練し、また皆さまに世界遺産を知識としてだけではなく、身をもって体感していただこうと今回の参学の集いを企画いたしました。

当日は快晴に恵まれ、二班に分かれて「熊野本宮語り部の会」の御二方から熊野にまつわる逸話を聞きながら、本宮大社周辺の古道十キロを四時間かけて歩きました。途中急な山道もありましたが全員無事に全行程を歩くことが出来ました。

多くの方が今回初めて熊野古道を歩いたのですが、今後も続けてこのような大会があれば次も是非参加したいという声も聞かれ、大変充実した大会となりました。

大会事務局　岩崎央明　合掌

参加者全員で記念撮影

世界遺産の古道を行く

IT委員会からのお知らせ

全曹青HP（ホームページ）「般若」にて、全国の御寺院様のHPをリンクで紹介しております。最近つくられたHPも紹介したいと考えています。ご希望の方は全曹青HP「般若」のリンクのページにある、申込用のフォームにてお知らせ下さい。

尚、FAXでも受け付けています。県・宗務所・教区・寺番・寺院名・管理者・URL・e-mail・連絡先（電話）をご記入の上FAX 0548－54－1133（桑原正寿宛）までお送り下さい。

IT委員会委員長　大野　泰生

賛助会員御芳名

平成17年9月～11月

東京都

1 青松寺様
6 光宝寺様
9 伝叟院様
50 黄梅院様
78 青原寺様
86 天徳院様
87 観音庵様
90 梅岩寺様
101 心月院様
110 松林寺様
111 寶昌寺様
116 長圓寺様
151 静勝寺様
171 高岩寺様
192 永伝寺様
200 祝言寺様
232 薬師寺様
239 宗保院様
241 築田寺様
256 妙全院様
269 信松院様
273 興岳寺様
317 龍雲寺様
337 天澤院様
356 宝蔵寺様
374 善福寺様
389 立川寺様
396 大真寺様
406 全昌院様

神奈川県第一

238 泉蔵寺様
264 慶林寺様
280 福昌院様
298 延命寺様
305 盛徳寺様
339 星山寺様

神奈川県第二

10 随流院様
18 宝泉寺様
54 宗英寺様
77 龍宝寺様
80 福泉寺様
81 貞昌院様
87 黙仙寺様
168 源養寺様
382 浅間寺様

横山敏明様

埼玉県第一

3 円通寺様
6 法性寺様
16 慈眼寺様
49 昌福寺様
38 高城寺様
59 長龍寺様
64 寿楽院様
93 光秀寺様
95 円福寺様
105 浄春院様
123 正明寺様
181 長光寺様
448 光厳寺様

埼玉県第二

207 蓮光寺様
212 大仙寺様
213 泉福寺様
228 法心寺様
238 松林寺様
247 天岑寺様
248 長泉寺様
258 能仁寺様
310 高岩寺様
316 円正寺様
331 曹源寺様
339 清見寺様

群馬県

348 興長禅寺様
496 長福寺様
504 大林寺様
526 長福寺様
4 隆興寺様
56 玉泉院様
83 常仙寺様
90 萬松寺様
115 無量院様
160 大圓寺様
189 神應寺様
194 善宗寺様
231 泉福寺様
271 雲門寺様
276 陽雲寺様
280 長楽寺様
292 光厳寺様
293 向陽寺様
308 仁叟寺様
331 天陽寺様
338 龍松寺様
343 大林寺様
361 普門寺様

栃木県

51 豊栖院様
57 満福寺様
62 長慶寺様
67 海潮寺様
87 慈眼寺様
93 乾徳寺様
106 実相院様
125 長興寺様
131 高徳寺様

茨城県

21 龍穏院様
57 常安寺様
60 圓通寺様

77 常春寺様
92 宝積寺様
134 大統寺様
145 性山寺様
158 妙西寺様
197 長龍寺様

伊藤宗考様

千葉県

2 宗胤寺様
6 海蔵寺様
7 満蔵寺様
8 重俊院様
24 仁守寺様
28 長福寺様
29 慶林寺様
68 超林寺様
96 長寿院様
129 報恩寺様
162 長昌寺様
177 儀林寺様
209 天性院様
320 瑞岩寺様
333 西方寺様
357 永福寺様

山梨県

115 海潮院様
207 光澤寺様
457 正福寺様

鈴木征一様

静岡県第一

9 然正院様
61 長光寺様
77 龍泉院様
83 洞福寺様
107 大正寺様
138 龍興寺様
178 大泉寺様
186 成安寺様

207 萬松院様
208 延命寺様
388 林叟院様
495 普門院様
564 蔵珠院様
577 長久寺様
三明寺様

静岡県第二

228 耕月寺様
246 長源寺様
291 明徳寺様
331 大江院様
359 禅福寺様
361 広台寺様
364 玉泉寺様

静岡県第三

585 成因寺様
586 正雲寺様
589 永竜寺様
657 大興寺様
767 大雲院様
869 龍眠寺様
920 蓮覚寺様
988 福王寺様
1270 善住寺様
1273 東林寺様

静岡県第四

1079 清心寺様
1112 大安寺様

愛知県第一

5 功徳院様
55 長全寺様
58 聚福院様
108 香積院様
111 龍興寺様
131 天年寺様
142 龍泉寺様
152 龍谷寺様

184 瑞雲寺様
207 萬渓寺様
293 康勝寺様
296 大吉寺様
303 恵日寺様
309 常宿寺様
313 長松寺様
340 興禅寺様
343 雲居寺様
624 浄泉寺様
629 神龍寺様
635 永澤寺様
1090 地蔵寺様
1118 観音寺様
1135 林光寺様
1184 庚申寺様

愛知県第二

684 花井寺様
736 宝円寺様
802 広済寺様
839 賢養院様
871 慶雲寺様
1018 正養寺様

愛知県第三

377 明忠院様
428 寶珠院様
431 報恩寺様
438 吉祥寺様
448 正衆寺様
456 宝珠寺様
498 神後院様
515 光善寺様
554 若林寺様
560 保福寺様

新美最照様

岐阜県

28 観音寺様
36 薬王寺様

102 桂昌寺様
116 永泉寺様
148 円頂寺様
149 浄光寺様
157 玉泉寺様
162 清楽寺様
167 正宗寺様
180 慈雲寺様
218 本覚寺様
220 吉祥寺様

三重県第一

37 天王寺様
38 傳法寺様
48 種徳軒様
77 新堂寺様
115 永善寺様
171 安養院様
269 大蓮寺様
364 観音寺様

三重県第二

389 海岸寺様
391 永明寺様
392 大義院様
401 光明寺様

滋賀県

21 東光寺様
35 慈眼院様
54 最福寺様
55 地福寺様
61 永福寺様
72 青岸寺様
201 林慶寺様

京都府

4 無学寺様
16 地蔵院様
46 栄春寺様
67 苗秀寺様
73 春現寺様

367 福昌寺様

大阪府

5 臨南寺様
10 梅旧院様
27 崇禅寺様
31 正泉寺様
33 龍海寺様
61 大廣寺様
88 正俊寺様
94 黄梅寺様
100 南詢寺様
121 禅徳寺様

奈良県

9 観音寺様
25 宝泉寺様

和歌山県

1 羅漢寺様
39 光泉寺様

兵庫県第一

12 妙香寺様
37 正林寺様
84 永澤寺様
287 向榮寺様
328 善福寺様
340 永春寺様
393 安養寺様
413 吉祥寺様
439 誕生寺様

兵庫県第二

102 琴松寺様
154 鷺住寺様
204 霊山寺様
224 善勝寺様
227 洞仙寺様
231 光雲寺様

岡山県

1 円通寺様
4 威徳寺様
127 慈眼寺様
128 楊柳寺様
131 済渡寺様
169 毎来寺様

広島県

1 国泰寺様
3 養徳院様
17 存光寺様
20 玉照院様

22 光禅寺様
26 正福寺様
27 清光寺様
44 浄居寺様
46 雙照院様
76 長福寺様
88 運西寺様
107 福泉寺様
120 宝泉寺様
131 善昌寺様
139 玉泉寺様
146 福善寺様
191 柳昌寺様

檀上一祥様

野村俊英様

山口県

25 弘済寺様
57 正慶院様
145 久屋寺様
197 大覚寺様
212 功山寺様
214 笑山寺様

鳥取県

2 林泉寺様
48 譲伝寺様
54 東昌寺様
77 大伝寺様
127 住雲寺様
143 瑞応寺様
159 大祥寺様
162 梅翁寺様
163 雲光寺様
168 聖福寺様
172 普門寺様

仲倉昭雄様

島根県第一

253 西光寺様

島根県第二

19 常福寺様
34 正禅寺様
39 常喜寺様
43 福正寺様
59 清光院様
63 龍覚寺様
69 龍雲寺様
86 北禅寺様
93 法恩寺様

95 善福寺様
123 神宮寺様
134 極楽寺様
139 十楽寺様
172 總覺寺様
177 梅窓院様
187 養善寺様
195 總光寺様

高知県
13 願成寺様
88 明徳寺様

79 向陽寺様

熊本県第二
144 世尊院様
136 医王寺様
108 光明寺様
98 秀岩寺様
92 清心寺様
51 盛林寺様

宮崎県
17 慈眼寺様
21 太平寺様
24 全長寺様
35 法泉寺様
38 観音寺様
40 法持寺様
60 如意寺様

長野県第一
113 西禅寺様
36 香林寺様
34 本光寺様
18 陽春院様
1 高昌寺様

愛媛県
2 見性寺様

香川県
195 總光寺様

福岡県
178 安養寺様
174 掌禅寺様
155 禅興寺様
141 瑞応寺様
43 洞仙寺様
65 柳原寺様
71 苔翁寺様
100 玄峰院様
102 真龍寺様
108 源眞寺様
109 興禅寺様
121 浄光庵様
129 見性寺様
98 不動寺様
67 建昌寺様
18 聖種寺様
15 龍国寺様

長野県第二
377 宝勝寺様
389 宗福寺様
396 長泉院様
400 長久寺様
401 松岳寺様
406 広沢寺様
474 長桂寺様

611 長寿庵様
580 観音庵様
311 龍雲寺様
307 信永院様
306 城光院様
300 威徳院様
258 宗泉寺様
227 岩松院様
224 玄照寺様
217 浄清寺様
167 英岩寺様
130 福泉寺様

新潟県第三
514 長命寺様
528 洞雲寺様
530 花栄寺様
546 清月寺様
553 安住寺様
558 周広院様
802 十王寺様

723 海潮寺様

新潟県第二
496 長楽寺様
483 円通寺様
451 正円寺様
450 西福寺様
441 正応寺様
416 龍源寺様
414 長福寺様
393 曹源寺様
390 東禅寺様
383 瑞泉寺様
368 正通寺様
364 永明寺様
362 長禅寺様
346 繁慶寺様

新潟県第一
342 光照寺様
83 永久寺様
11 真国寺様
2 海岸寺様

富山県
101 千光寺様
50 全昌寺様

石川県
269 御誕生寺様
265 西方寺様
245 曹源寺様
232 長泉寺様
218 常福寺様
108 玉祥寺様
62 正圓寺様
27 龍澤寺様
22 総光寺様

福井県
529 雲彩寺様
513 慈恩院様
495 桂泉院様
489 祥雲寺様

新潟県第四
19 林照寺様
23 観音寺様
30 茂林寺様
61 永福寺様
70 永谷寺様
99 玉泉寺様
112 常安寺様
122 延命寺様
137 相円寺様
144 瑞雲寺様
204 養泉寺様
233 松岳寺様
244 応庵寺様
249 高泉寺様
281 常楽寺様
285 大伝寺様
738 不動寺様
809 霊道寺様

古川弘明様

福島県
8 白山寺様
10 佛母寺様
11 宝勝寺様
31 金源寺様
39 仲興寺様
63 昌源寺様
79 西松寺様
101 成林寺様
120 大慈寺様
121 長泉寺様
125 勝音寺様
126 常林寺様
131 天性寺様
159 正金寺様
184 金昌寺様
185 長興寺様
188 頂宣寺様
214 満円寺様
226 常隆寺様
231 長徳寺様
246 円通寺様
274 龍門寺様
275 性源寺様
276 龍雲寺様
277 海嶽寺様
294 東光寺様

297 蘭秀寺様
324 松泉寺様
338 西光寺様
349 宝昌寺様
374 常徳寺様

宮城県
1 昌伝庵様
9 瑞雲寺様
14 松音寺様
16 林香院様
25 龍泉院様
28 輪王寺様
30 壽徳寺様
32 永昌寺様
80 東禅寺様
83 向泉寺様
88 耕田寺様
98 紹樂寺様
106 自得寺様
129 正法寺様
158 海蔵寺様
164 昌源寺様
177 珠光寺様
213 松窓寺様
237 圓通院様
274 洞安寺様
281 光明寺様
282 耕德院様
295 松巖寺様
332 大通寺様
380 長観寺様
384 大雄寺様
390 西光寺様
418 光明寺様
432 耕田寺様
439 洞林寺様
440 城國寺様

川合玉仙様

岩手県
2 祇陀寺様
3 東顕寺様
8 源勝寺様
12 沼福寺様
25 宝積寺様
28 聖福寺様
46 滝源寺様
71 円通寺様
75 宗青寺様

101 正法寺様
171 光西寺様
179 圓満寺様
197 常川寺様
201 東川院様
216 善龍寺様
222 寶珠寺様
231 盛岩寺様
252 柳玄寺様
255 喜清院様
288 長福寺様
315 観音寺様

青森県
17 普門院様
19 宗德寺様
25 川龍院様
43 夢宅寺様
98 東光寺様
106 正法寺様
122 法林寺様
115 心月寺様
146 大雄寺様
183 大乗寺様
188 興雲寺様

山形県第一
4 慈光寺様
5 光禅寺様
55 新龍寺様
88 智鏡寺様
107 光学院様
142 陽春院様
148 定林寺様
194 龍護寺様
224 長泉寺様

山形県第二
318 瑞龍院様
372 昌傳庵様
417 繁応院様

山形県第三
438 西光寺様
466 禅龍寺様
502 楞厳院様
563 洞春院様
581 長現寺様
635 宝護寺様
659 持地院様
718 長渕寺様

732 總光寺様

秋田県
17 補陀寺様
22 源正寺様
27 永源寺様
33 龍門寺様
83 大泉寺様
86 瑞林寺様
109 龍門寺様
114 光禅寺様
122 龍雲寺様
128 耕伝寺様
136 長谷寺様
157 香積寺様
180 龍泉寺様
181 黄龍寺様
190 正平寺様
212 霊仙寺様
246 福城寺様
261 見性寺様
262 龍江寺様
266 松源院様
274 盛沢寺様
284 善德寺様
290 樹温寺様
302 天昌寺様
308 実相寺様
311 全應寺様
321 鏡得寺様
323 恩德寺様
341 金浦寺様

中川英明様

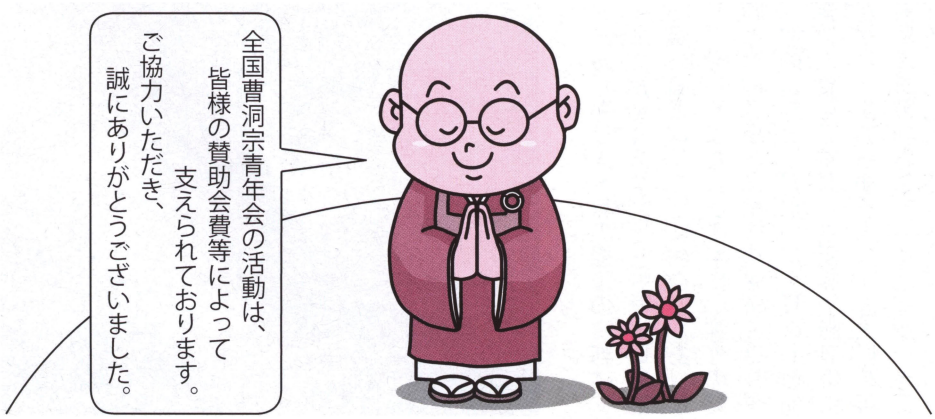
北海道第一
5 大泉寺様
13 願応寺様
16 高聖寺様
18 延命寺様
45 洞参寺様
53 龍巌寺様
61 大林寺様
69 中央寺様
85 禅竜寺様
89 曹源寺様
94 観音寺様
96 浄国寺様
253 大慈寺様

257 高臺寺様
327 大宥寺様
350 来広寺様
353 龍宝寺様
357 薬師寺様
446 大法寺様

北海道第二
104 常厳寺様
120 大雄寺様
166 東照寺様
190 禅林寺様

191 泰源寺様
458 定賢寺様
465 大安寺様

北海道第三
146 晃德寺様
195 定光寺様
225 明光寺様
229 東陽寺様
235 常照寺様
410 高沢寺様



世界の重層信仰（二）

キリスト教における重層性

北沢　裕

シンクレティズムは宗教にとって本質的現象ということができます。ある宗教が成長・拡大・伝播していく過程においては、必然的に他の宗教伝統との友好的あるいは敵対的な融合の過程があるためです。いかなる融合であっても、その結果としての多様性・重層性の獲得がその宗教に内的強靭さを与え、歴史宗教たらしめてきた最大要因であることは疑いえません。

キリスト教のイメージとしては一般に「汝の敵を愛せ」というような愛のイメージが強いかもしれません。が、その一方で、オウム真理教（現アーレフ）が行った無差別大量殺人において、彼らがハルマゲドンという聖書の語彙を用いていたことが想起されるかもしれません。そしてこのような矛盾するイメージはキリスト教の重層性を表すものともいいうるのです。

ハルマゲドンはヘブライ語で「メギト（パレスティナの古都）の丘」を意味し、この地において世界の終末におこる神とその敵対者の両軍勢の戦いであるとされます。このような終末における神の軍勢の勝利という思想は、*最後の審判という教義に明確に表されています。この審判は再臨したイエス自身を審判者として行われるもので、これに先立ってすべての死者が復活させられ、文字通りすべての者が*義人と罪人とに選別され、それぞれに祝福と真の死が与えられます。すなわち最後の審判とは神の真実、正義、慈愛を表すものであると同時に、神の激しい怒りを表すものということができます。したがってキリスト教の信仰とは、裁きの日に神の前に義とされ、嘉されることを願うもの、ということもできます。この信仰があればこそ、数多くの殉教者が存在してきたのでした。

このように命をかけるほどに重要な思想が、本来的にシンクレティズムによるものとしたら意外な感じがするのではないでしょうか。キリスト教の最後の審判はその起源をユダヤ教に持ちます。ユダヤ教において峻厳な神の裁きの思想は古くから存在しますが、それはあくまでユダヤ民族の歴史の枠組みの中で神との契約に基づいて行われるものでした。ところが前二世紀の*「ダニエル書」において審判に変化が生じます。この書において審判は初めて死者の復活を伴って描かれ、審判の結果、ある者は永遠の生を受け、ある者は永遠の恥を受けるとされ、死後の魂の存在が積極的に考えられるようになりました。そしてこのような審判思想の変化は古代ペルシアの宗教思想――ゾロアスター教からもたらされたと考えられるのです。

ゾロアスター教の宇宙史は善神と悪神との闘争史と捉えられます。その中で人間は善思・善言・善行の遂行によって善神アフラ・マズダの軍勢の一員としてこの闘争史に参加します。死後、人は生前の行いによって裁かれ、天国と地獄とに振り分けられますが、歴史の終末においてはすべての死者とともに復活し、地を覆う溶鉱の中でもう一度裁かれるのです。このように明確な構造をもつゾロアスター教の審判思想がおそらく*バビロン捕囚時（前六世紀）にユダヤ教に受容されたと想定されるのです。解放者*アケメネス朝ペルシアが宗教寛容政策をとり、ユダヤ人の帰還と*神殿再建を許したことも、この文化受容の促進要因と考えられます。

一方、キリスト教の最後の審判は、イエスが人びとのために再臨し、自ら審判者となることに独自性があります。そしてまさにこの点に、神との契約と選民意識とに基づく峻厳なるユダヤ教的審判とは異なったキリスト教的審判の姿を、すなわち民族や階級等にかかわらずあらゆる人の天国入場を可能にする審判思想をみることができるのです。

しかしながら、キリスト教の審判思想では最後の審判までの死者の状態の説明に不明確さが残り、その結果さまざまな解釈を生起させることになります。たとえば死の直前、共に磔にされる者に向けられたイエスの言葉「はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる」（*ルカ23：43）は、死直後の天国入場を示唆して

いると考えられるため、最後の審判後の天国入場と矛盾してしまうのです。

また、西欧社会においてキリスト教に先行した*ケルトやゲルマンの宗教文化には、明確な死後他界観が存在したため、キリスト教はそれらの他界観と審判思想とを融合する必要にも迫られました。このために、死の直後に赴く*煉獄空間が個人の死と最後の審判との空隙を埋めるべく創造されたのでした。したがって私たちがダンテの『神曲』中にみることのできるキリスト教の死後世界の大パノラマはこのように多様な宗教伝統の融合体ということができるのです。

さらに、中世のキリスト教会は、最後の審判における神の怒りや審判の苛烈さを強調しましたが、この点もケルト・ゲルマン的な幸福感に満ちた他界観念を持つ民衆文化の強い抵抗にあったと考えられます。その中で、人びとを守護し、罪の取りなしをしてくれる*聖人に対する崇拝が盛んになっていきます。聖人には職能によるものや地域性に根ざすものが多く、人びとの生活に寄り添う身近な存在であったことがわかります。また聖母マリア崇拝も各地で高まりましたが、これらは本来ケルトの*地母神信仰の強い地域でした。聖人崇拝の成立はキリスト教信仰と民衆文化との融合ということができますが、一神教内における多神教的信仰の成立とみることもできます。このような現象は、十六世紀のメキシコにおける*グアダルーペの聖母崇拝の成立などのように、近現代のキリスト教史の中にも確認されます。

このように、キリスト教のさまざまな局面において、多様なシンクレティズムの存在を確認することができます。シンクレティズムは硬直化しがちな教義やその世界観に新しい知見と柔軟性をもたらし、いわゆるエリート的なものになりがちな宗教文化を、大衆に開かれ、生活に根ざした文化へと変成させてきた現象に他ならないのです。

○北沢　裕（きたざわ　ゆたか）
一九六七年長野県上田市生まれ。東京大学大学院博士課程単位取得退学（宗教学）。キリスト教を中心に死後世界のイメージから死生観の比較研究を試みている。東洋英和女学院大学非常勤講師。

ヤン・ヴァン・エイク
「最後の審判」

最後の審判
キリスト教終末論の根本思想。歴史の最終段階においてイエスが再臨しすべての死者を復活させたうえで行う総審判。これによって真の天国入場と地獄落ち（第二の死）が決定される。新約聖書の「ヨハネの黙示録」はこの終末図絵を象徴的な物語で描いている。疫病、戦争、飢饉、死を表す四人の騎士の到来によってはじまるこの物語は、次々と地上を襲う災い、偽メシアと竜の登場、ハルマゲドンへの軍勢の集結、千年王国の到来、竜＝サタンとの最終決戦をへて最後の審判へと至るものである。

義人
本来は他者の痛みを知り神の命令を守る倫理的な人間を指す。聖書における「義」は天上に属するものであり、そのため人間に対するよりも神に対する信仰的行為において義人であるかが問われる。

「ダニエル書」
旧約聖書の黙示文学に属する書物。黙示文学は紀元前後のユダヤ教、キリスト教の終末論的色彩の強い一群の文書。「黙示」は神によって開示された秘密を報告する文書を意味する。

バビロン捕囚、アケメネス朝ペルシア、神殿再建
前一〇〇〇年頃、ダビデが王となりエルサレムを首都とする大帝国（ユダ王国）を建設し、その子ソロモンがエルサレムのシオンの丘に主の神殿を建立した。これにより、世の終りにメシア（即位に際して油を注がれた王＝救世主）がダビデの子孫から現れるという期待と、エルサレム（シオンの丘）を最も重要な聖地とする信仰が成立する。前五八六年、新バビロニアによってユダ王国は滅亡。エルサレム神殿は破壊され、半世紀にわたるユダヤ人のバビロン強制移住（バビロン捕囚）の苦難がはじまる。前五三八年、アケメネス朝ペルシアのキュロス二世が捕囚民を解放。一部のユダヤ人がエルサレムに帰還、神殿を再建（第二神殿）する。

ルカ（「ルカによる福音書」）
新約聖書においてイエス＝キリストの生涯と言行を伝える四福音書（マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ）のひとつ。

ケルトやゲルマンの宗教文化
ヨーロッパがキリスト教化する以前に存在した先行文化。ケルト文化には海上や地下に位置する他界への旅の伝承が多く、現代に至る幻想・ファンタジー文学の歴史的源泉の一つとなっている。ゲルマン人の墓の副葬品は死後に赴く世界での生活を保証するものが多く豊かな他界観念を持っていたと考えられる。

煉獄
小罪を犯し地獄に行くまでに至らないがすぐには天国へ行けない霊魂が、苦しみを受けながら浄化され最後の審判を待つとされる場所、およびその状態。その起源は古く旧約時代に遡ることができるが、正統教義として体系化されるのは十二世紀の中世（スコラ）神学においてである。煉獄という「ラテン語purgatoriumはpurgare「浄化する」に由来し、浄罪界とも訳す。

聖人
殉教者や高徳の生涯を送った者で教会によって列聖されたもの。聖人には病気治癒やその他の奇跡を起こす霊力があると信じられ民衆信仰の中に深く根を下ろした。聖人信仰には異教や土俗信仰の混入の痕跡をとどめている場合が少なくない。

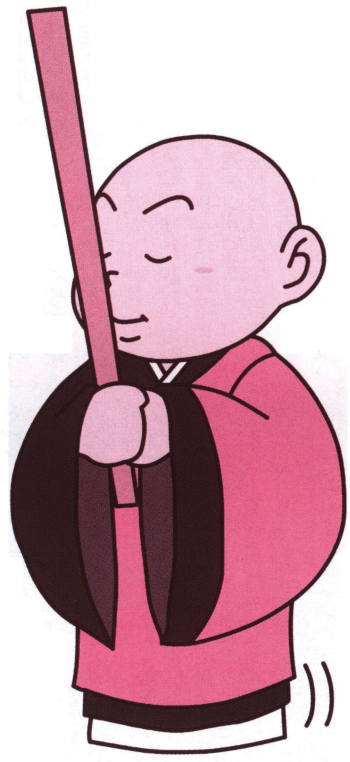
地母神信仰
地母神は大地の豊饒性、生命力の神格化されたもの。父神的性格をもつ上天神（天父）に対する。大地を万物を生み養う偉大な母神としてあがめる信仰は、世界中の農耕文化に共通して見いだされる。

グアダルーペの聖母崇拝
スペインによるメキシコ征服後まもなく、メキシコ市の北西テペジャクの丘に出現したといわれる聖母。その信仰は初め原住民の間で広まり、その後クレオール層（植民地生れのスペイン人）にも浸透した。

禅知識 まんだら（三）

臨済禅に於ける坐禅 ―その意味と実践―

花園大学名誉教授　西村惠信



一、宗祖臨済の坐禅観

臨済禅は中国唐末の禅者、臨済義玄（?～八六六）を宗祖と仰ぐ五家七宗の一派で、その言行を録した『臨済録』一巻をもって宗由とする。洞門と同じく如来禅の漸修漸悟主義を否定して、頓修頓悟を創唱した六祖の南宗禅を承ける点で、思想的に「定慧一等」であるに変わりはない。

臨済義玄は、法の曾祖父である馬祖道一の日常作用の棒喝禅を徹底し、如来禅の禅定主義から完全脱却したのである。『臨済録』には黄檗が一心に「坐禅」する首座を罵り、かえって坐禅中居眠りの振りをして見せた臨済の方を褒める商量があり、臨済自身も「示衆」において、「坐禅観行は外道の法なり」と断定している。このように臨済禅が基本的に坐禅習定の一辺主義を否定していることをまず確認しておきたい。

さて、『臨済録』上堂説法の核心は、次の二点に要約される。一つは「即今目前聴法底の人を識取せよ」（今そこで法を聴いているそのものをつかみ取る）ということである。そして仏や祖師というような権威はいうまでもなく、一切の法縛や人惑を受けることのない自由自在な「一無位の真人」を識得することである。

第二の核心は、修行者が一度は必ず「真正の見解（けんげ）を得んことを要す」ることである。臨済は「是れ娘生下にして便ち会するにあらず、還って是れ体究錬磨して一朝に自から省す」（生まれたままで分かっていたのではなく、苦労して修行した結果、ある時ハッと分かったのだ）（示衆）と自分の宗教体験を具体的に述べている。これあるゆえに日常生活の行住坐臥において、「平常無事の道人」たることができるのであり、これを「真の出家」と呼ぶのだという。これを要するに臨済禅の本質は、坐禅主義の否定と見性体験の強調という二点に約することができるであろうか。

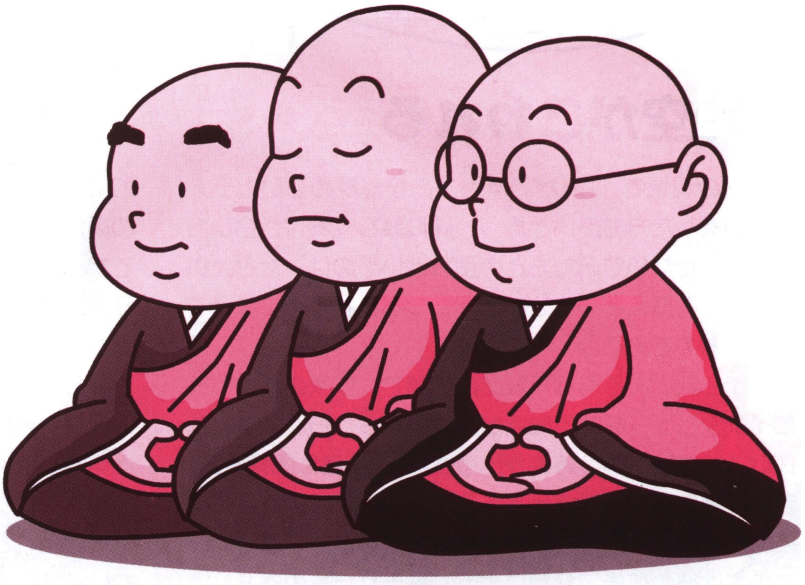
二、白隠の坐禅観と見性の強調

草創期の日本臨済禅は、宋朝看話禅の完全な模倣であった。当時の祖師たちの語録には日本禅としての独創性はまったく見られない。強いて言えば日本臨済禅は徳川期の盤珪永琢（一六二二～一六九三）の「不生禅」においてのみ、その独自性を発揮し得たと言えよう（鈴木大拙）。盤珪は言語を絶するような坐禅によって開悟体験に到ったが、大衆への説法ではただ「とくと身どもの言うことを聞かっしゃい」と言うのみで、坐禅修行の必要を一切説いていない。

彼は中国禅の用語を一切用いず、当時の「平語」（日常語）で分かりやすく説法し、「親の産み付けたもうた不生の仏心を見やれ」と説いて、多くの人びとを容易に見性に導いたが、方法論において欠如するものがあり、盤珪の入滅とともに法も断滅した。

盤珪に遅れること六十年して登場した白隠慧鶴（一六八五～一七六八）は、修行者を禅の究極に導くための合理的方法として「公案体系」を確立した。これによって沈滞していた臨済禅を扶起したので、彼は今日もなお「日本臨済禅中興の祖」と仰がれている。

白隠禅の特色は公案工夫による「見性第一主義」にある。坐禅はそのための手段であっても目的ではない。ゆえに白隠において「修証一等」ということはない。彼は道元一門を「今時黙照の邪党」と口汚く罵り、盤珪を「近代断無の瞎僧」と揶揄した。そういう白隠の過激なまでの批判は、当時の曹洞禅、黄檗禅、念仏禅、不生禅などに共通して欠如していた「大死一番、絶後蘇生」の決定的宗教体験を強調するためであった。



公案工夫は宗教体験に不可欠の手段であって、坐禅は公案工夫の一手段に過ぎない。ともかく一度「懸崖に手を撒する」覚悟で公案と取り組んで、大悟徹底の大歓喜は得なければならないことを力説した。特に彼は「動中の工夫は静中の工夫に勝ること百千万倍す」と言い、坐禅よりも日常のなかでの公案工夫を勧めた。

白隠自身は二十四歳のとき、越後高田の英巌寺で徹宵夜坐して暁に至り、遠寺から聞えてきた鐘声を聞いて悟りを得たのである。あるいは八十四歳のとき『法華経』譬喩品を誦んでいて、軒下で切々と啼くコオロギの声を聞き法華経の深意に達したという。このように悟りの体験は、坐禅の静寂のなかにおいてではなく、むしろ公案拈提の大疑三昧が何かの機縁で瓦解氷消するとき突如として起こる経験であることを説いた。

三、臨済禅における坐禅の実際

臨済禅修行に於いては、坐禅はあくまで公案工夫の手段であって、坐禅そのものが目的ではない。現在行われている専門道場の坐禅も、あくまで公案工夫と入室参禅のための手段にすぎない。一日数回の入室参禅（請益）のために、修行者は「本参の話頭」（目下与えられている公案）に向かって、止静と抽解を問わず工夫三昧でなければならない。

臨済禅僧堂の坐禅が面壁ではなくて対面坐禅である理由は、公案工夫に向かって互いに切磋琢磨するためである。各人は切歯扼腕して公案工夫のための坐禅に励む。それは只管打坐のような「法悦的」禅定ではない。堂内は静寂の中にも「一默雷に似たる」一触即発的緊張を含んでいる。警策も「石中火有り、打たざれば発せず」の厳しさをもって行じられる。臘八摂心はとくに「命取りの大摂心」と言われ、時を告げる板を外し、寝具を取り上げ、七日間を一日として坐禅に勤しむ。

「道場規則」第一条に「参禅は最も急務たり」というごとく、ひとたび師家の隠寮から喚鐘の音が聞えると、堂内は一転して静寂から喧騒に変わる。入室を勧める役位の僧が衆僧を入室へと暴力的に駆り立てるからである。それはおおよそ曹洞禅の道場では想像もできない状景であろう。しかしここに臨済禅修行の面目躍如たるものがある。

経行の仕方もまた、一息半歩というような徐行ではない。早からず遅からず、さっさと歩く臨済流の経行は慣れるまでに一夏九十日を要するであろう。臨済の僧堂では日常において「急緩宜しく節を得べし」と誡める。これが下山後の日常生活における「把住放行」の体得となっていることは間違いないであろう。

○西村　惠信（にしむら　えしん）

一九三三（昭和八）年滋賀県生まれ。一九五六年、花園大学仏教学部（禅哲学専攻）卒、南禅寺専門道場（寒松軒柴山全慶老師）にて参禅弁道（二か年）。一九六〇～六一年、アメリカ合衆国ペンデルヒル宗教研究所留学（キリスト教研究）。一九七〇年、京都大学大学院文学研究科（宗教学専攻）博士過程修了。学位論文『己事究明の思想と方法に関する研究』により文学博士（愛知学院大学、一九九三年）。一九五八（助手就任）以来四十七年間、花園大学教員として奉職。文学部長、図書館長、国際禅学研究所長など歴任して、二〇〇五年三月花園大学学長を最後に退職。現在、花園大学名誉教授、財禅文化研究所長、滋賀県臨済宗妙心寺派興福寺閑栖。著書に『故事究明の思想と方法』（法蔵館）ほか三十五冊がある。

あまんずそうせい

時空がこわれる

長野県東昌寺副住職　飯　島　惠　道

供養の現場で、「声が詰まってお経が読めない」そんな体験をした方も多いと思う。殊に親しくお付き合いをさせていただいていた方との別れというのは、たとえ供養のプロと言えども、悲嘆に押しつぶされそうになってしまうものである。

昨年の秋、ある看護系雑誌の依頼で、作家の高史明氏にインタビューをする機会があった。今から30年ほど前「ぼくは12歳」という詩集が出版された。著者は岡真史氏。若干12歳にして作家デビューということではなく、彼はこの詩集に収められた言葉を残して、自ら命を断った。この本は彼の死後、父親によって編まれたものであり、その父親が高史明氏である。

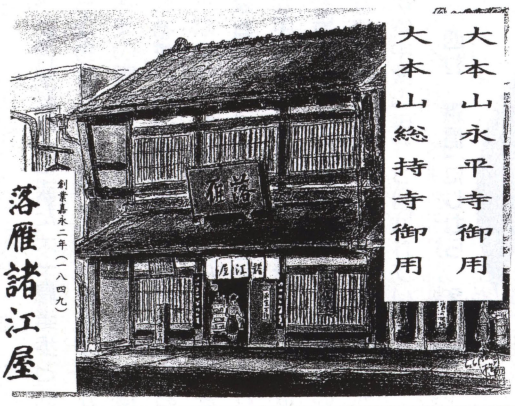
インタビューの中で、息子さんの死について問うと、次のような答えが戻ってきた。「親が死ぬときは、時間の秩序として体が納得する。そこで、供養が成り立つ。しかし、わが子が死ぬということは、成り立っていたものが、それを構成する原子のレベルから、何もかもすべてが目の前からなくなってしまうということ。つまり、時間と空間が全部壊れてしまうということ。それが全部壊れてもまだ世界はあるということ」と。子どもの死という出来事が、いかに不条理なものであり、受け入れ難いものであるかが、ひしひしと伝わってきた。

ターミナルケアの現場では、患者さんの「時間」というのは、朝になったから起き、夜になったから眠るというリズムとは無関係になってくることが多い。それは、痛みをはじめとした苦痛に起因する場合もあるし、精神的に不安定になっていることに起因することもある。この頃から、患者さんとそのご家族の時空の崩壊が始まっている。その延長線上に死があり、引き続き葬儀がある。遺族の時空の崩壊は、葬儀後も続く。そして、時間をかけて、悲しみが癒されると共に、昼夜のリズムを取り戻し、自分の時間と空間をも取り戻していく。丁度この期間、私たち僧侶は他界された患者さんとそのご遺族と関わりを持つことになる。この時期の関わりのことをグリーフ（ケア）ワーク（悲嘆の作業）という。愛する者との別れという辛い現実を受け入れ、それを乗り越えていくことをサポートするワークである。それはホスピスケアの一つではあるのだが、病院を死亡退院したあとの遺族ケアというのは、実現し難いことが多い。しかし、自然な形で宗教家がそれを引き継ぐことができる。壊れた時空を元に戻すためのケア。枕経から始まる一連の供養の中で、形式重視ではなく、ケアとしての供養を営めるよう精進を続ける所存である。

◇筆者プロフィール◇

飯島　惠道（いいじま　けいどう）

長野県松本生まれ。尼寺育ち。生と死、命をキーワードに、僧侶としての活動の中で、看護師資格をいかせる現場を模索中。



修復工事から新築工事まで
あらゆる対震（＝対地震）工事に
最新技術※で対応しております。
日本古来の伝統の技を伝承する、
魚津の設計と施工。

※大本山總持寺香積台耐震改修工事で採用させて頂きました。

神社・仏閣専門建築
株式会社 魚津社寺工務店
〒454-0004　名古屋市中川区西日置二丁目12番20号
TEL(052)331-3080・0854　FAX(052)332-3540
http://www.uotushaji.co.jp/

寺族の窓

埼玉県春日部市　東陽寺寺族　鈴木　歩

昨年九月末、国勢調査の書類が届いた。義母と二人、お茶を飲みながらの書類作成。「住職たちの仕事内容は〝僧侶〟でいいのよね。私たちの欄は何て書けばいいかしら?」と悩んだ挙句、〝寺院清掃、管理、接客、電話応対、経理、法事受付等〟と記入した。「ずいぶん仕事が多いわね」とは、義母のセリフ。

「お寺って言うと難しく聞こえるかもしれないけれど、専業主婦とあまり変わらないから、心配しなくても大丈夫だよ」という夫の言葉を聞き、「それなら私でもなんとかなるかな」との甘い考えで結婚に踏み切ったのが、六年前。

お寺で育った人にとっては、義母が当たり前のようにこなしている〝寺族〟の仕事が、いわゆる専業主婦の仕事と同じだと思っていたのだろう。しかしその規模の違い、そして責任の重さの違いたるや、格段の差であったのだ。サラリーマン家庭に生まれ育ち、短大卒業後には総勢十名ほどの小さな企業に就職、六畳一間のアパートで気ままな一人暮らしを長年続けていた私の身には、カルチャーショックの連続、生活環境は百八十度変わったのだった。

早起きがツライのは未だに変わらないが、当時一番困惑したのは専門用語の多さだ。食事中に家族で会話していても、「???」の連続。「それって、なんのこと? どんな字を書くの?」と、質問攻め。そしてお檀家さんとの関係性や人間関係が理解できず、また地理が不案内なことなどもあり、当時はなんとも言えない疎外感や孤立感を味わうことが多かった。そして次は体力の問題。事務仕事を長年続けていたなまくらな体には、金属製の塵取が重くて使えなかったのだ。プラスチック製の塵取を使い、竹箒すら重く、しばらく筋肉痛に悩まされていた。今から思えば、なんとも情けない次第である。

「夫の両親と同居してる」と言えば、周囲からは「うわ〜っ、たいへんね」などと言われる。しかしたいへんなのは自分たちばかりではなく、受け入れる側も相当たいへんだっただろうと思う。こんな情けない私を同じ屋根の下に迎え入れてくれた住職と義母も、きっと困惑と我慢の連続だったに違いない。お二方には、感謝々々、である。

結婚から六年。『習うより慣れろ』で、専門用語もだいぶ理解できるようになり、お檀家さんの顔も少しずつ覚えてきた。なんとか留守番ぐらいならこなせるようになり、ようやく寺の一員らしくなってきたと思う。そして、何よりも「家族らしくなってきたかなあ」と感じているのは、私だけだろうか。

義母が留守だと、お茶の時間に他愛のない話に花が咲くこともなく、なんだかツマラナイ。住職が出張から帰る日には、「じいじの好きなフランスパン、買っておこうかな」と思う。結婚をして離れていった義妹たちが電話をかけてくれれば、そんなに久しぶりでもないのになんだか懐かしく、元気な様子がうれしく感じる。そして二人の小さな娘たちが電話の横で「電話かわって、かわって」「もしもし、しゅる〜」と賑やかしくしている。愛する旦那様は私の手料理を「うまい、うまい」と言って、毎晩機嫌よく晩酌してくれている。

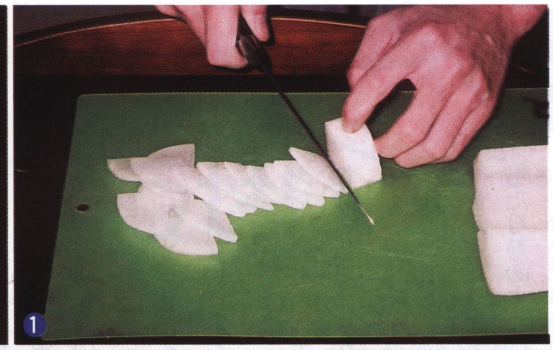
願わくは、このまま毎日楽しく忙しく、賑やかな〝東陽寺ファミリー〟していければいいなあと、思っている。

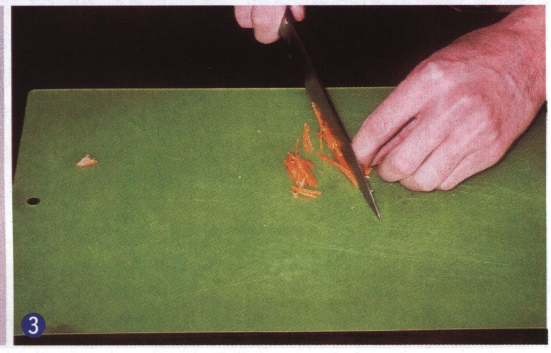
授与品・記念品・その他　寺院用品
京都 井筒
井筒 授与品部
〒601-8348
京都市南区吉祥院観音堂町23番地
TEL 0120-075-820
TEL 075-672-8100
FAX 0120-075-890

禅師さま105歳のご説法——
新編 若き仏たちへ
曹洞宗大本山永平寺
貫首 宮崎奕保猊下●著
読者から大反響！—やさしい語りかけで、とにかくわかりやすい。長年の心の霧がはれました
■定価1,500円(税込)／四六判上製・248ページ
(株)ぱんたか Tel 03(3802)3450 Fax 03(3802)8871
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-21-1 MC88ビル2F

菜食健美

簡単に漬物を作ってみてはいかが
～みかん風味の大根浅漬け～





みなさん、こんにちは。漬物と聞くと作るのが得意な人、どうも苦手な人がいるでしょう。
そこで今回はこれから始めようとする方、以前から漬けている方はもちろんですが、誰にでも作れる〝浅漬け〟の一品をご紹介しましょう。

材料

大根約250g（4分の1本）、薄口醤油（大さじ1）、酢（大さじ1）、塩（小さじ2分の1）、はちみつ（小さじ1）、みかんの皮（2分の1個）

作り方

①大根をいちょう切りにして（写真❶）、あらかじめよく洗ったみかんの皮を内側の白い部分をそぎおとして（写真❷）千切りにします（写真❸）。
②ビニール袋にすべての材料を入れてもみあわせます（写真❹）。
③中に空気が入らないようにして口を結びます（写真❺）。
④約20分間程常温で置くと出来上がりです（写真❻）。
お好みでみかんの皮でなくても、りんごの皮でも良いです。

その地方・家庭と、それぞれの味があるでしょうが、いろんな野菜の組み合わせで、もみ漬け・浅漬けを体験してみることから始めてみてはいかがですか。材料にはすべて〝いのち〟があり、どんな料理にも〝いのちを吹き込む〟という気持ちを大切にしましょう。

文　白澤　雪俊（しらさわ　せっしゅん）
昭和四十五年、青森県弘前市生まれ。
十八歳で永平寺別院に安居（あんご）修行しながら、駒澤短期大学（仏教科）に学ぶ。
卒業後一年間東京都港区の青松寺に随身（住職にお仕えし学ぶ修行僧）として過ごした後、福井県曹洞宗大本山永平寺にて、七年間安居修行をする。この七年間の中、約三年間を典座寮に配役される。永平寺送行後、大本山永平寺東京別院 長谷寺副典として再安居。
現在、青森県弘前市普門院副住職として師匠を補佐する傍ら、青森県弘前曹青会長も務める。
著書：『身体にやさしい料理をつくろう』（ニュートンプレス）

宛転偏円

昨今、子供達を取巻く環境の変化が問題視される時代になってきた。登下校の道草は、小学生にとっては情操教育の一端でもあると言われるが、決して安全とは言えなくなってしまったこともその一例である。

山育ちの私などは、日が暮れるまで遊び、学校の帰りの道草は日常茶飯事であった。石段を百数十段ばかり登った、城跡でもあった秩父氏の館跡に作られた木造校舎で、数え切れない位の悪戯をし、先生に拳骨をもらったり、廊下に立たされたことも、今となっては良き思い出である。

住職地の寺では、毎月子供坐禅会と、毎週書道教室を行っている。また、春の花祭り、夏の燈華会と、寺の行事の大半が子供達中心である。次世代を担う子供達に何が残せるか、「オヤジの背中を見せよう」が、合言葉であり、寺の自称青年会のメンバー七十名が、子供達・孫達のために汗を流し、行事を盛上げてくれる。昨年の暮れからは、写仏も加わった。

三十一年前、全国曹洞宗青年会は、『大衆教化の接点を求めて』をメインテーマに発足されている。三十年の月日が経っても、求める所の主旨は変わらないのではないか。三年前の初代会長門脇允元老師、昨年の初代副会長藤井大吾老師の遷化に接し、ご冥福を祈ると同時に、今一度初志を忘れることなく貫徹しなければならないと感じた次第である。

本年も、執行部一丸となって、積極的に曹青会活動に励む所存でございます。皆さまの更なるお力添えをお願い申上げ、改歳にあたってのご挨拶とさせていただきます。

全国曹洞宗青年会　会長
宮寺守正

『ARA・KAN KAN』の独り言

建物のいのち

数年前に私の生まれ育った母屋を取り壊す事になった時、父は自分の手で少しづつ解いていくのだと言いました。家族を長年守り続けてきた家に対する家長としての勤めと考えたのでしょうか…。「重機を使って家を解体する時は恐いくらい厳粛な気持ちになるんだよね」と知人の解体業者さんも話していました。その昔、人の命を守り続けるために生まれてきた無数の建物たちは、感謝と労いの気持ちに送られ土に還っていったのでしょう。

私の父は長年大工を生業としてきました。私も色々な材料や道具、そして作業の音に囲まれて育ちました。この音たちは「音楽」ではなく、人と共に生きる家の命を削り出し、刻み、打ち込み、組み上げる職人達と材料や道具たちが生み出す音でした。「この音が響き、波となり力となって建物たちの命と共に生きているに違いない」、建物と一緒に居るとそんな気がしてきます。私が「音」に寄せる信頼は、こういった環境の中で育まれたのかもしれません。

私が音を体験するワークショップを行うために出かける会場は、古民家、蔵、体育館、大ホール、喫茶店、お寺や神社等、本当にさまざまです。そして私は、依頼を受けると下見を兼ねて会場となる建物から響いてくる「音」も聴きに行くのですが、その「音」は大勢の命を見守ってきた建物だけがもつ深い響きと安心を届けてくれます。私は「今度、いろいろな音を出しに来ます…宜しくお願いします」と、毎回そっと手を合わせてから帰って来るのです。

◆荒　利美（あら　としみ）　プロフィール

1960年　福島県新地町生まれ、　鍼灸師。
治療のかたわら、竹や瓢箪などのオリジナル・ハンドメイドの楽器を作り、演奏活動をしている。
最近では、「子供の情操に訴える演奏家」として、各教育機関や、各宗派寺院、各曹青会へも講師として招かれ、子供たちと「音」を交信している。

※『ARA・KANKAN』とは？
本人のニックネーム。演奏活動で「空缶」を使用することから、その音を取って命名す。

編集後記

今号の高木氏のお話に「外に背を向け、内輪でやってきたのが日本人の特徴なのでしょうが、もはやそれが通用する時代ではない。」という一節がありました。今や社会が複雑化したためか、人間関係が希薄になったためか、従来日本人の行動を規制してきた世間の目も監視が行き届かなくなり、結果耐震偽装事件に代表されるように互いの信頼関係が揺らいだ時代となった感があります。よく日本人には思想というものがなく、あるとすればそれは現実の世の中の姿だという意見があります。今号に掲載した憲法第9条改正のアンケートにもその傾向が窺われます。従ってIT産業成長の影響下に箍の外れてしまった自己の欲望に忠実な生き方が互いの信頼関係を揺るがしているのかもしれません。仏教とは元来人間の弱さを見つめてきた宗教だと思います。そこでは欲望に抗しきれない弱い自分に従っていては幸福になれないという深い洞察がなされています。しかし時流に流されその欲望に抗する自分を見失ったとき、人は自分自身との信頼関係をも裏切る結果になるのではないでしょうか。欲望にではなく、あくまでも弱い自分への同事行の実践の一助になっていきたいと編集室は考えています。

《お詫びと訂正》

一三一号　二十四～二十五頁　賛助会員御芳名において次の誤りがありました。

（誤）			（正）		
神奈川県第一	362	吉祥寺	神奈川県第一	362	吉祥院
栃木県	51	豊栖寺	栃木県	51	豊栖院
愛知県第一	642	浄泉寺	愛知県第一	624	浄泉寺
愛知県第三	512	清涼寺	愛知県第三	512	清涼寺
鳥取県	133	妙光寺	鳥取県	133	妙元寺
福島県	111	善光寺	福島県	111	普光寺

お詫びして訂正いたします。

「そうせい」に対するご意見・ご感想をお寄せ下さい。
○あて先　〒三六九－〇三〇一
埼玉県児玉郡上里町金久保七〇一
陽雲寺内　そうせいサロン係
FAX　〇四九五－三三－八二五五　武田まで
メール　16th-koho@mbp.nifty.com

そうせい美術館

SOUSEIGALLERY

雑　想

いろいろな色が雑りあっている。
色とは人の持つ個性で、色であったり　モノが放つ強さであったりする。
人やモノが共存しあい　互いに生かしあう雑想の世界。
雑草のように、たくさんの雑想が息づいている。

色は眼に見えるものだけではなく、感覚で感じとることもある。
それはモノや人を含め、それぞれがいろいろな色を放っている。
だからこそ個性が生まれる。

個々が生きるという個生。
いろいろな考えが雑想を育んでいる。

作者プロフィール

山　田　大　輔（やまだ　だいすけ）

1976年 静岡県沼津市生まれ仙台市在住。
1998年 東北工業大学 工業デザイン科卒、大学時代は銅版画の制作をする。現在、仙台、宮城蔵王、福島や東京銀座などで個展を開催している。2005年 仙台・ファッションモール セルバにて個展を開催。ネパールの刺繍師と協同制作した刺繍作品、シルク糸、毛糸を使った絵画、陶器への絵など、素材にこだわった作品を制作している。

発行所　全国曹洞宗青年会　〒105-8544　東京都港区芝2-5-2　曹洞宗宗務庁内／発行責任者　宮寺守正　編集責任者　久間泰弘　編集委員　河村康仁・森田英仁・青野貴芳・板倉省吾・武田光誠・田中徳雲・村松保人・藤木総宣・広瀬知哲
本誌編集部へのお問い合わせ先　〒369-0301　埼玉県児玉郡上里町金久保701　陽雲寺内　☎(0495)33-8255・武田／全曹青ホームページ　http://www.sousei.gr.jp／印刷所　株式会社 中央デザイン／定価　二百円

キリトリ線

100%
古紙100%再生紙